京城日報

十六日夕刊 (朝夕刊併せて八頁)

獨逸東漸と極東

▲黑河にも過激派來襲

邦人義勇團奮鬪して敵を破り
死者一名負傷者二名を出す

十五日朝黑河在留邦人團長より齊々哈爾領事に宛てたる電報に據れば十二日午前六時頃過激派逆襲し來りしも戰鬪の結果敗走し其際邦人に死者一名負傷者二名を出し行衛不明者八名あり同地在留邦人は義勇團兵四十名外百二十名にして支那人五十名外國人一千餘名ありと(東京特電)

▲安き心地もなく 辛じて哈爾賓へ

邦人一行の露都引揚げ

久しき間の危險狀態と食糧不足の困苦とを忍びたる在露都邦人(三十名)米國人支那人は獨軍露都を衝かんとするの警報到るに及んで今は之れ迄なりと最後の露都引揚げをなし右一行を搭乘せる急行列車は十五日夜九時半無事哈爾賓に到着内十名は浦鹽に向ふべく一先づ哈爾賓に下車したり一行は露都を發して以來屢々危險なる風說を耳にし戰々恟々として安き心地もなく甚だしきは二三日立往生をなしたる箇所さへあり十九日目に漸く哈爾賓に著するを得宛も日本に歸りしが如き感ありしと異口同音に語れり一行の特別列車には平塚大使館員、高柳少將、時乘少佐等の武官其他在留民あり川上滿鐵理事等多數一行を出迎へたり(哈爾賓特電)

▲過激派對日態度

過激派政府は日本と戰爭を爲すの已むなきものと信じ居れり(露都電報)

▲露都光景寂寞矣

露都は日々市民の退去避難するもの相踵ぎ市内の光景頗る寂寥を極めつゝあり(露都電報)

支那の形勢

▲段祺瑞出廬懇請

馮總統は十四日朝十一時半段祺瑞氏を訪問したるが是れ北方派督軍の希望に從ひ總理たらん事を懇請せるなりと(北京特電)

▲張督軍再び出兵開始

張督軍は列國の抗議に對し一度中止せる第二十九師一旅を再び强硬の態度を執りて出兵を開始し十四日夜發したり(奉天特電)

▲錢代理總理辭職

錢能訓氏は代理總理を辭せん事を馮總統に乞へり(北京電報)

▲岳州北軍の優勢

岳州に於ける北軍優勢なり(北京電報)

◎聖上還幸仰出

天皇陛下には十八日葉山より還幸遊ばさるべき旨仰出されたり(東京電報)

◎張督軍林公使出迎

張督軍は徐樹錚氏と共に部下十三名を隨へ十四日午前零時林公使を奉天驛に出迎へ一時間餘會談同二時軍糧城に歸還したり(奉天特電)

◎徐樹錚歸京

徐樹錚氏は身邊危險なる爲め歸鄉を躊躇し居たるが林公使と同車して十五日朝北京に歸還せり(奉天特電)

◎鎭海司令官更迭

今回鎭海灣要港司令官吉川岩太郎氏待命となり砲兵大佐宮下義普氏後任に補せらる(馬山特電)

◎過激派の頽勢

獨逸の對露政策

▼外相總司令辭職 外電に據れば露國過激派政府外務卿トロッキーは辭職せりと云ひ又露軍總司令官クリレンコは政治上及び軍事上の問題に就き過激派政府委員との間に意見合はずして辭職せりと云へり駐露大使一行の露都を引揚げて以來其筋にても何等情報の徵す可き特別機關なくして僅に新聞報の轉電せられつゝあるのみなればトロッキー及クリレンコの辭職に就ても之が眞僞の程容易に逆睹すべからずと雖も近來過激派政府の威信が漸く失墜せんとしつゝある形勢に在りたるは掩ふ可からざる事實にして政權を掌握して以來物資の需給其の他施設の何等見る可きものなきこと獨逸に飜弄せられて全然屈辱的の講和を敢てしたること及び獨逸側の壓迫政策等は之が主なる原因なりと解せらる

▼穩健派の潜勢力 莫斯科に於ける勞兵大會は大多數を以て獨逸との間に締結せられたる講和條約を承認せりとの報あり縱し之を否認したりとするも其の結果は唯だ獨軍の續進あるのみにして露國として抵抗力を備へざる露國は此際不本意なりとは云へ之を承認するの外なかる可きも獨逸の政策にして依然過激派の勢力を一掃し此處に健全分子をもり立て、自己藥籠中の國家を建設せしめんとするにある以上過激派政府の崩壞は單に時期の問題のみなる可し一方有產階級穩健派は爾來全く雌伏して何等爲す處なかりしとは云へ尙ほ相當の潜勢力を保有し居る可きは勿論にして一朝過激派の形勢非なるを看取するに於ては所在に擡頭して大勢の挽回に努む可し況んや獨逸側に於て却て過激派を退し穩健派を支持せんと欲しつゝあるに於てをや

▼兩派の衝突時代 最近アレキシエフ將軍(曾て一度自殺を傳へられたるも)がドン地方に於て大軍の組織に着手し既に數千の參加者を見たりと傳へられ又莫斯科代表會議が護國軍編成の決議を爲せりと報せらるゝが如き或は穩健派擡頭の先驅ならんかとも觀らる何にするも過激派の沒落と穩健派の復活とは數の免れざる處にして其間には恐らく相當大規模の騷擾を醸す可く其の波動は遠く西伯利亞にまで及ぶの時期ある可し而して權謀術策に富みたる獨逸が斯かる間にも凡ゆる陰密の手段を以て露都、莫斯科、オデッサ等の主要都市を事實上支配するに至る可きは是れ亦想像に難からざる處なりとせらる因に獨逸は其の占領地に於て露國民を徵集兵役に服せしめつゝありとの報あるも獨逸は現に兵員の點に於て毫も不足を感じ居らざれば恐らく勞働者として强制使役しつゝあるものならんと

東京より

在京一記者

獨逸東漸と極東問題(九)

◎帝國と東方に於ける露國鐵道の管理

○我が帝國が、西比利方面に出動するに當り、對支問題の解決と同時に、聯合國の默契を得ざる可からざる問題は、露國の東淸鐵道、烏蘇里鐵道、黑龍江鐵道並に西比利鐵道の管理權を一時我に委任すべき條件、是れ也。

○世上の昧者動もすれば、獨逸の東漸を以て極めて困難なりと爲し輕々看過し去るものあり、と雖も、獨逸にして露國に代り、其の國內に於ける交通權を左右し得る場合に於ては、獨禍の東漸は容易にして、決して空想にあらず。西伯利の富源が、獨逸人の蠶食する所と爲り、其の大森林、大金鑛其他の鑛業乃至農工業が獨逸人の能力、資本、器械に依りて開發せられ、經營せられ將來別天地を現出すべきこと、多言を要せず。而して西比利鐵道は、獨逸勢力東漸の先驅機關たるべきこと、殆んど疑を容れざる也。豈豫じめ戒めざる可けむ哉。

○然らば則ち、我が帝國にして出動する以上は、主として我が陸軍を以て東淸鐵道、烏蘇里鐵道の守備に任じ、更に進みて黑龍江鐵道並に貝加爾以東に於ける西伯利鐵道を占領し、以て之を管理するの策に出でざる可からず。是れ所謂敵の謀を伐つの策にして、西比利全局の大勢を制する先決問題と爲す。勿論東淸鐵道の如き、烏蘇里鐵道の如きは、我が南滿洲鐵道と聯絡すべき線路にして、東亞平和の爲に缺く可からざるが故に之を我が帝國の掌中に收めざる可からずと雖も、黑龍江鐵道、及び貝加爾以東に於ける西比利鐵道の如きは、露國民族にして復活し、統一政府成る迄、之を保管するに止め、其の處分方法は、戰後、平和會議の際に之を協定するを可とすべし。是れ我が帝國が聯合國に對して之れが默契を取り、其の誤解及び猜疑を釋かざる可からざる條件の一也。

○苟くも我が帝國の陸軍にして、一方には東淸、烏蘇里兩鐵道を守備し、黑龍江及び貝加爾以東に於ける西比利鐵道の兩線を扼し以て四鐵道の沿線に於ける過激派を一掃し、他方には、亂民を討し、良民を撫し、所謂廢れたるを興し、絕えたるを繼ぎ、王者の道を以て之に臨まむ乎、露國無主の民族が簞食壺漿して、我が日本軍を迎へむこと、火を睹るよりも明か也。彼れ獨り露國の良民のみならむ。我等過激派と雖も、我が帝國の出兵が、仁義の王道を布くに在りて、土地の侵略に非ず。我が陸軍が文明の師にして獨逸暴逆の軍と同日に語る可からざるを知るに於ては彼等が我に信頼するに至るべきや疑を容れず。

○師出づるに名を貴ぶ、今日に於て、最も然りとす。我が帝國が、聯合國に對し、出兵の目的を明にし、併せて外交上の默契を取るの必要あるは之れが爲めのみ。

◎總督邸饗應

長谷川總督は春季釋奠祭に參列の爲め上京中の各道講士及び經學院職員一同を官邸に招待して茶菓の饗應ある筈なるが時日は未定なり

◎鮮滿は鐵材の寶庫

獨逸の擧國一致

十三日午前五時三十分下關驛著列車にて下車したる陸軍運輸部本部長陸軍少將谷田繁太郎氏は同日午前十時三十分出帆の關釜連絡船壹岐丸にて釜山に向ひたるが氏は今次の大戰爭に就て敵ながら獨逸軍隊の機敏なる活動と國民擧國一致の思想に富める點に就て左の如く語る

▲堅忍忠實の獨民 獨逸の强敵なる事は最早口にするの要なし予は久しく獨逸に於て軍隊教育を受け更に戰爭前にも或る任務を帶びて旅行せるが國民一般が朝野を通じて健全分子多く又豐富なる資識に依つて凡ゆる化學工藝品は發明せられ根柢深く廣汎なる手段を以て全世界を掌握せんとしつゝある事は一會社の業務振りに於ても既に認むる事を得べし又國民の體質は世界一にして十七八歲の少年を以て軍人たらしむるに日本の丁年以上の資格を有し何事につけても羨望の外なし日本の軍隊明治初年の鎭臺制度の當時は佛蘭西式を學びたるも我々の教育は殆んど獨逸にて三十七八年の役より純日本式に改められたるものなり

▲對露問題は愼重 獨逸が露國に向つて極力奮鬪する事は今日に始まりたるものにあらず戰前に於て黑龍州及沿海州に於ける商業の中樞は多く獨逸商人の手中に掌握せられたるを此の機會に於て恢復せんとするにあり果して露國の民心が惡指導に煽動されて獨逸軍と極力東漸の援助をなす行動の顯出し來らば最早一步も許すべからざるも輕率に事を爲すべきものに非ず尚八幡製鐵所問題に依つて鐵材の供給には格別の事なかるべきも日本は滿鮮に鐵材の寶庫を有する將來は頗る有望の事と信ず(門司)

◎セ大尉へ軍器供給

聯合軍は斷然セミョノフ大尉に軍器彈藥を供給する事に決し差當り北京より大砲五門、機關銃若干、彈丸百萬發を輸送しつゝあり(哈爾賓特電)

◎伯林全く無秩序

伯林は目下無警察の狀態と秩序全く紊れ暴民市中に跋扈跳梁し白晝强盜を働くものある有樣なり(倫敦電報)

◎米軍敵を擊退す

米軍はツール北方にて敵軍を擊退せり(倫敦電報)

◎愛蘭國民黨首領

愛蘭國民黨首領レッドモンド氏の後任はジョンヂロン氏の呼聲最も高し(倫敦電報)

◎新横斷航路前途

神戸組合汽船會社にては日本海橫斷航路開始の企てある事は既報の如きが同社より過般總督府當局に對し大正七年度豫算に計上されたる横斷航路補助費下附の申請ありしも右補助費は目下の所朝鮮郵船に交付する事に內定し居るものの如きに付其の交渉は不成功に終るべく從つて補助費を受けざる組合汽船の計畫は或は一二航海の實現を見る事はあるべきも永續は採算上困難ならんと

◎電報激增

矢野通信課長談

滿洲各郵便局視察の際何れも電報取扱通數の激增に苦しみつゝあるを見たるが歸任後朝鮮各郵便局の狀況を調査せしに鮮內に於ても亦近時電報取扱通數頗る增加し通信從事員の勞苦多大なるものあり現に京城郵便局の如き最近に於て一日一萬八千三百通の發著ありしが之れを大正六年末に於て一日一萬七千九百七十通に比するも四百通の增加を示し取扱數も多數なり中樞たる京城局が刻下商況取引最盛の際に非ざるに此の狀況を誘致せるは時局の關係なるかとも思はれざるに非ずそは兎に角として如斯電報通數の異常の增加は電信回線を增し且つ從事員の增加をなさゞれば電報遲延上遺憾なき能はずと雖も回線の增加には多大の經費を要するのみならず工事材料を得るに非常なる困難あり急速に實施し難き事情あるに付電報遲延の善後策に付ては大に焦慮し居れり尙ほ滿洲內に於ては至急電報照校電報甚だ多き由にて自然電報增加より來る遲延を免れんとする事並に誤謬を防がんとするにあらんか

◎京管局工事概況

滿鐵京城管理局に就き客月中朝鮮線に於ける建設工事其他業務成績の模樣を聞くに左の如し

▲京釜線

一、金泉秋風嶺間線路改良工事(十哩一分)土工々事六分、橋梁工事五分七厘、隧道工事左の通りにて總體を通じて五分五厘成工せり
太平隧道(延長一千九百八十呎)
側壁基礎 七十二呎
新村隧道 延長一千二十三呎
拱疊築 百四十三呎
側壁疊 百九十呎
本工事は順調に進捗し期限內に竣工の見込

一、秋風嶺永同間第一工區線路改良工事(六哩八分)
土工々事四分六厘、橋梁工事五分六厘、隧道工事左の如くにして總體を通じて三分五厘通成工せり
黃澗隧道 延長二千三百三十四呎
導坑掘鑿 一千七百七十呎
本工も亦期限內に竣功の見込

一、秋風嶺永同間第二工區線路改良工事(六哩八分)
土工々事三分八厘、橋梁工事一分九厘にして總體を通じて三分一厘通成工せり
本工事は當初の豫定より稍後れたるも期限內竣工の見込

一、伊院停車場前後線路改良工事(五哩四分)
土工々事四分、橋梁工事二分二厘、隧道工事左の如くにて總體を通じて三分二厘通成工せり
稷坪隧道 一千十三呎
導坑掘鑿 一千六百五十九呎
拱疊築 三十六呎
本工事は期限內に竣功の見込

一、[illegible]停車場構內地下道附近地築其他工事
土工々事七分七厘其他雜工事六分四厘五毛にて總體を通じ六分五厘四毛成工せり給水の設備は止せしも設計變更の結果步通[illegible]動を生ず

一、釜山第二棧橋北部海陸連絡設備の貨物積卸場其他新工事
二月二十八日限竣工

▲湖南線

一、湖南線金堤四街里間線路改良工事
土工々事六分七厘、橋梁工事八分六厘、通總を通じて八分三厘通成工せり

一、湖南線沙洞木浦間線路改築工事
土工々事七分、橋梁八分通總體を通じて八分前成工せり

一、大田停車場本屋其他改築工事
總體を通じて五分五厘通成工せり

▲京元線

一、京元線[illegible]橋梁新設其他工事
總體を通じて七分六厘通成工せり(二月分步通計上するに至らず)

▲咸鏡線南部

一、咸鏡線龍興江橋梁及前後土工其他新設工事
土工々事八分一厘、橋梁工事六分一厘、總體を通じて六分六厘通成工せり

▲用地買收

永興新上間(二二哩七分五分通り買收)せり(二月分買收のものなし)

◎府下水事業費

京城府に於ける下水事業は大正六年度より引續き着手實行せらるべき筈なりしが議會の解散其他の都合に據り之れが事業豫算の成立を見ず已むを得ず五千圓の下水工事調査費を以つて專ら之れが調査に腐心しつゝありしが此の年度內には略調査の完結を見るに至るべく尚大正七年度下水工事費豫算額は十二萬六百圓にして內六萬三百圓は國庫補助額、一萬五千圓は地方費を以つて支辨、殘餘四萬五千三百圓は府費の負擔額にて第一期下水工事は五箇年繼續事業として之れが豫算總額六十萬三千圓を計上し先づ之を以つて京城府內下水の幹線を築造し更に第二期計畫にて細部に亙る下水工事を完了する豫定なるが年度內調査終結の曉は直ちに之れが設計に移る筈也と

◎客月京城商況

客月中に於ける京城商況に關し京城商業會議所の調査する所に據れば趨勢は依然物價騰貴の影響を受けて捗々しからざるも例年に比し速かなる暖氣の到來は解氷期を早からしめ奧地より物價の廻送自由となりたるに加へて內地に於ける

▲米穀相場の奔騰は益々秘出を促進し地方よりの廻著漸次增加し地場商人間の轉賣頗る旺盛に行はれ玄米石十九圓八九十錢より二十二圓二十錢に上り雜穀類も一般に騰貴して粟十九圓五十錢小豆十六圓四十二錢大豆八圓四十七錢小麥十五圓五錢の平均相場にて取引せられたり大豆は農家買惜み出廻多からざりし折柄內地よりの買註文輻輳し尚北滿大豆相場石十六七圓を唱ふるに至りし爲め當地市場に於ける相場も月初十二圓八十錢位より月末十五圓に躍進するの活況を呈せり次に

▲輸移入品の大宗たる綿絲布は近時內地市場より支那印度方面への輸出夥からざると一方內地一般に之等の需要を增加したる爲め是亦昇騰して三A印和金巾一梱(二十反入)に付二百八十五圓より二百九十圓を上下し歲末前後と[illegible]て相當賣行ありたれど相場昨年同期に比較し約倍額に達したれば賣行數量に於ては著るしく減少し其他の春季節用品は幾分の荷動き無きにあらざりしも殆んど止むなき

▲物價騰貴の趨勢は漸次影響を加へんとしつゝ越月せり今京城稅關出張所の取扱に係る當月中の當地貿易額を見るに輸移出品價二十九萬二千六百四十二圓輸移入品價百六十八萬九千三百六十五圓合計百九十八萬二千零七圓にして之を前月に比すれば輸移出に於て九萬六千八百六十八圓を增加し輸移入に於ては七萬五千二百二十圓を減退せり而して更に之を前年同期に對比する時は輸移出に在りて八萬六千二百九十一圓輸移入に在りて五十萬零三百三十一圓の孰れも增進を示せり

◎商議役員會

京城商業會議所にては來る十八日午後二時より役員會を開催十二日より三日間東拓會議室に於て開會せる鮮滿聯合會議打合事項の報告及び同會議所事務所建築に關する件を打合すべしと

◎鈴木騎兵監入京

騎兵團隊檢閱の爲め來鮮中の騎兵監鈴木少將は羅南騎兵第二十六聯隊の檢閱を了へ十六日午後元山より入京巴城館に投宿の筈なるが十七、十八の兩日滯在の上龍山部隊の視察を爲すべしと

◎市川參謀長歸任

木浦地方地理實査の爲め出張中なりし駐剳軍參謀長市川少將は千輪同副官帶同十六日午後六時五十分龍山著歸任す

◎關屋局長歸任

慶尙南北道に出張中なりし關屋學務局長は十五日歸任せり

◎齋藤前廠長出發

齋藤前營林廠長は十六日朝新義州發列車にて出發一時京城に滯在の由なるが事務引繼は矢野新任廠長入京の際京城に於て行ふべき豫定なり(安東縣)

◎以文會例會

十七日午後一時より黃金町貴族會館に於て以文會春季例會を開催の筈なり

◎訂正

十六日朝刊二面米良松山尾山の天子の詩は松川尾山の誤植に付訂正す

人事消息

▲李完用伯 十五日烏山より歸京
▲李允用男 同上
▲宗安京城憲兵〃隊長 十五日午後鳥致院へ
▲大原庄太郎氏(朝鮮水產組合長) 十五日[illegible]後釜山へ
▲上田[illegible] 十五日安東へ
▲當川儀作氏(實業家) 十五日入京浦尾へ
▲小林一氏(東亞煙草重役) 十五日大邱より入京巴城館へ
▲深水彥四郞氏(營林廠庶務課長) 十五日入京
▲八田吉平氏(平安南道技師) 十六日朝入京巴城館へ

彼れ此れ

◆英國封鎖大臣の聲明に曰く「獨逸は、バグダット鐵道に代ふるに、高加索及、波斯西北部を經由して、東方に至る、新通路を以てせん計畫ありと。是れ實に、獨逸が豫定の畫策に非ずや。夙に露獨間休戰條約の締結さるや、其條約中にも、露軍は波斯領より、撤退すべしとの一項を加へたる、夙に此の意を、仄めかしたるものと見るを得べし。東洋の多事は、唯に昨今のみに非ず、緊褌一番を要す。

◆獨逸の南下して、波斯を指すの目的は、即ち印度にあるべし。然り、其の覬ふ處は印度にあり。之れ英國の爲には、非常なる苦痛にして、更らに恐ろしき魔の手は、印度に蔓延せんか。

◆ブラゴエチエンスクに於て、邦人百五十名虐殺さると。形勢は、愈々重大となる。よしんば、其の虐殺せられたる者が、女子供等なりと雖も、之等しく、我帝國の國民也。將又其の他に、在住の朝鮮人ありとせば、之亦帝國の、臣民たり。過激派の橫暴は、茲に至つて、又た極まれりと謂ふべし。而も我國旗に對して、凌辱を敢てするに至つては、最早許すべからざるの行爲に非ずや。

本紙定價 [illegible]
廣告料金 [illegible]
發行兼編輯人 奥田直毅
印刷人 小川三之介
發行所 京城太平通一丁目 京城日報社 電話番號 [illegible]

時間表 [illegible]

十一月一日現行

◆邦人百八十名在住のイルクツク市街

危し、イルクツク市
―獨墺俘虜過激派と結合？
◇一領事館なき無援の孤地◇

イルクツクに於ては獨墺俘虜軍隊が過激派官憲と協議の上日本が西伯利亞出兵の曉は同地駐在の聯合國領事を監禁し日本領事を銃殺す可く決定したと言ふ電報が見えたがイルクツクには日本領事館を▼▲設置すべく外務省でも準備中であつたので今の處では領事が駐在して居る筈がない多分莫斯科駐在の柴崎領事の歸途を邀しての事であらうと想像されるが兇暴飽なき過激派と陰險惡辣な獨墺兵が協議の上とあらば什麼▼▲殘虐が行はれるか測られない其の場合は獨り領事の身の上のみならず在留邦人は海蘭包で蒙つた迫害と同様の惨禍を蒙りはすまいか、想像するだに冷汗膚を襲ふの感がする、イルクツク市の人口は十八萬本邦人は約百八十名で醫師などはヤポンスキードクトルと呼ばれて▼▲露人間に多大の信用を博し相當の成功をして居る者もあり其他寫眞屋日本雜貨商店などもあるが幸にして伊太利の名譽領事ドンオテロ●アントン●ミハイロウヰツチ氏が大の日本好で事毎に邦人を庇護して克く露國官憲との間に立つて斡旋の勞を取り、事實上の日本▼▲名譽領事とも言ふやうな立場にあつて呉れたので邦人は各方面に於て大いに優待されて居つた獨墺俘虜は約一萬五千名主に靴屋や鐵工所の職工鐵道の工夫などに勞役して居つたが食糧が缺乏して食物も碌々攝れなかつたので飯さへ喰せると、洗濯屋あたりへ行つて▼▲一生懸命に仕事をして居たものだつた、夫等の俘虜が此の機會を利用して過激派と結び武器を執つて立つたら物騒千萬、いざ出兵と言ふ事を聞けば隨分亂暴な事をするだらうと思はれる（小田築氏談）

雲烟萬里　異鄉の邦人
◇御稜威を讃へつゝ　娘子軍も魂を持つ

時局の進むに隨つて西伯利亞在留邦人は身邊の危險を感じつゝ有るであらうが彼等邦人は智識階級と否とを問はず日本國民と言ふ強い誇りをもつてゐて祭日などには天皇陛下の御眞影を拜して御稜威を懐ひまつり、且つ國旗を愛すること殆んど信仰的である、實際三千萬里を隔てた異鄉の空に有るものは國旗と同胞が唯一の力で何か事が起る毎に此の二つの者に頼られねばならぬからさもある可き事で有らうと思はれるが最も痛快に感ぜられるのは所謂滿洲ゴロと稱せられる浮浪の徒がこゝにも居て平素は碌な事をしないにも拘らずいざと言ふ場合には必ず國の爲めと言ふ一大信仰の下に集つて來る彼の淪落廢度し難き娘子軍さへ國辱と呪はれるが我等は大和民族の先驅となつて居ると哀れな聲で歌つてゐる、彼等から國家と云ふ觀念を取り去つたならば極めて悲慘なものであらうと思はれる、話は護るが今度獨墺俘虜軍が秘密裡に軍團を組織しつゝ有るイルクツクには在留邦人百八十人中娘子軍は四十人許りをるが彼等は日本人を慕うて旅客が來るとぞろ／＼顔を見にやつて來て引張つて行つては大いに歡待するそして優しい日本語で故國の事情を聞くのを唯一の慰安として居るとは物の哀れに泣かされるではないか娘子軍はイルクツクが放浪の果で其以西には一人も居ないさうであるが彼等は戰前までは一箇月三百留位の收入であつて二三箇年には二三千圓位づゝ儲けて日本に歸る、客は大抵露國の軍人である（〇氏談）

浦鹽特派員電報
▼空前の濃霧來る
城津より　西村生

十四日午後五時元山に著したる記者は旅裝の塵を拂ふ暇もなく朝郵出張所を訪問乘船の手續を終り七時半◆◆浦鹽航行の平安丸に乘船　平安丸は總噸數二千昨年五月の新造に係り各室華麗設備亦行き屆きて乘り心地よし此の航路は本年の初航なり午後八時出帆の豫程なりしが夕刻より猛烈なる◆◆濃霧襲來し咫尺を辨せず僅に港口近く進みたるのみにて其儘假泊し空しく一夜を明すこととなりたり　顧れば元山市街の燈火は茫として夢の如し小西事務長の談に依れば今回は◆◆初航にも不拘非常の好況にて元山より乘客二百名に達して各室共に滿員なりと一等客は記者を加へて十名なるが二三等中にて浦鹽行數名あり明れば十五日も未だ晴れず濃霧益々濃く朝暾を遮りて海上◆◆暗澹たり斯の如きは元山空前の出來事にて流石老練の楠瀬船長も施す術なく困却したるが午前十時遂に勇を鼓して拔錨し徐々港外に航進せり

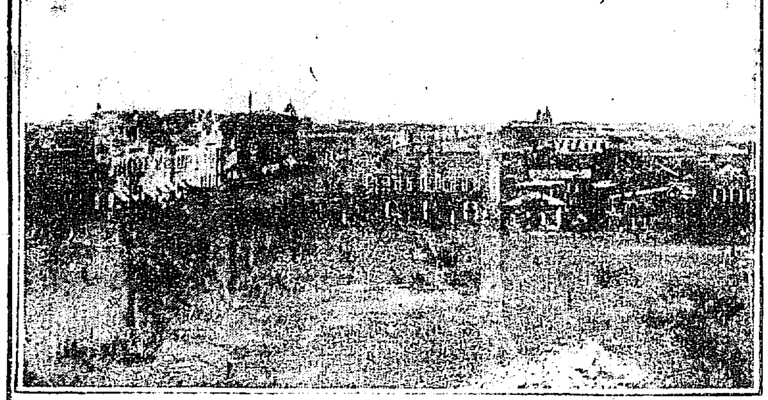
▼今朝淸津に向ふ
乘船平安丸は元山出帆後も尚ほ濃霧の爲になやまされ度々假泊し豫程に遲るゝ事一晝夜十六日朝城津に著し午前九時淸津に向つて出帆せり

◆長春驛に　獨探か
スラッキの中に文書

十六日東淸鐵道にて南下し來りし露國人一人は獨探の嫌疑により取調べを受けつゝあり同人のステツキの中より文書發見しトランクの蓋は二重になり居るなど如何はしき點多し自らは宣敎師と稱し弘致後も聖書を讀み居れり（長春特電）

●大阪鐵工所　タンク爆發
十五日夜八時大阪鐵工所の瓦斯タンクの鐵製容器俄然爆發せしも折好く終業後とて負傷者なし（大阪特電）

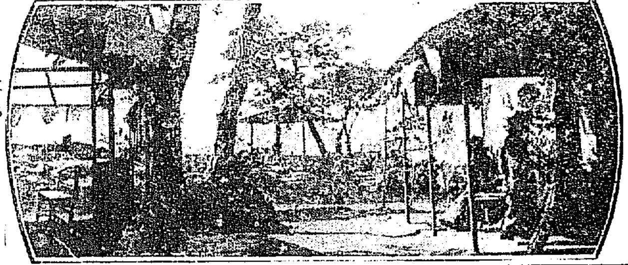
●汝海津沖に　汽船遭難
乘組員は無事
成鏡南道警務部より警務總監部への電報に依れば十五日午前六時頃成南汝海津を距る一海里許りの沖合にて汽船ジユンヤウ丸（所屬噸數等不明）が暗礁に乘り上げ船體破損浸水するに至りたるも未だ沈沒するに至らず乘組乘客等無事、救助船を派して救護中なりと


◆邦人百五十名虐殺されたる海蘭包（ブラゴエチエンスク）

●浪人強盜　首魁は豫備少尉
東京麻布の吉永晋作とて陸軍豫備少尉柔道五段の達人が首魁となり九名の配下と漁船にて南支那に乘込み活動せんとして二回失敗したる結果遂に一圖糊口に差支へ爲に昨年末長崎縣下野母村郵便局を襲ひ八百圓を掠奪したる強盜事件は今回豫審終結愈々長崎地方裁判所公判に回されたり（長崎特電）

●鮮人の轢死
十三日午前七時北行貨物列車が遂城郡遂西面中事務を去る約四十町の地點を進行中列車の前方を通行中なりし年齡四十歲位の鮮人男が列車に觸れ左足より斜に腹部及び胸部肩並に左頭部を轢かれ卽死したるが急報に接したる大邱憲兵分隊にては憲兵及び囑託醫を派遣檢視の上死體は面吏員に引渡せり（大邱）

●困つた洋服屋
京畿道加平郡郡内面邑内居住洋服仕立職原盛三郎（三七）は本年一月下旬同里の金英鎬より代金三十一圓にてオーバコート二枚の註文を受け内金二十二圓餘を受け取り又宋炳一よりは三十五圓のオーバを註文引受け內金十圓を領收しながら其の金を橫領して何れも調達をなさず倘江原道春川邑内のミシン會社よりミシン一臺を百二十圓にて月賦購入することゝなし月三圓宛にて三回入金したるのみにて該ミシンを他の借金の抵當に入れたる件を告訴され加平分遣所にて取調べの上檢事局送り


春の茶店（十六日午後漢陽公園にて）

春を訪ねて！
□□□漢陽公園□□□
掛茶屋の女將しく　賣めきたつた南山　滿女生徒の散歩姿

少し急いで登れば、額のあたりが汗ばむほどに温かな、十六日の土曜日の正午過ぎ、朝鮮人の人夫が懶うげに城壁の土を掘り返してゐる南大門の横から漢陽公園へ登つてみた、市中を望むと東西南北

◆四門の外から圍ひ

◆滿漢の醜の中に

ゆつたりと呼吸してゐるかと思はれる程の長閑けさ、ツイ此の間内まで厳張つたやうに嚴ついい顔をしてゐた仁王山、三角山、北漢山の諸峰も淡い霞に包まれて心あらば笑ひ出しさうなのも春なればこそであろ、霞の中から折々響いて來る山の手の敎會堂の鐘や、三坂通りの先きなる陸軍射撃場の▽小銃の音さへ心持よく聞かれる、あの一本松のある廣場にはベンチに凭つて、午下りの強い陽を滿身に浴びながら日本字の小說を熱心に音讀してゐる學生らしい若い朝鮮人があつた、このあたりから砲臺の附近、更に公園記念碑のある邊一帶に掛茶屋が夥だしく出來て花見時に見るやうな赤い毛氈などの

◆色美しい前垂をかけた若い姐さんな娘達が

◆十八餘りも紅白粉の輕ひ粧ひさへ凝して『寄つていらつしやいまし、お休みなさいまし』と鶯のやうなまた雲雀のやうな黄色い聲を振り絞つて客を呼んでゐる、掛茶屋には屋根から屋根へ吊り廻らした彩旗、サツポロビール、シトロン、サイダーなどの晴々しい吊りぎれ、紙旗などをかけ連ねて見るからに浮々した氣分を漂はせてゐるのが盛行く春の景色によさはしいものであつた、漢陽公園から南山の京城神社に拔ける道には▽目白の籠を高く掲げて『チ、、、』と樹々の枝から枝に飛び移りながら鳴き連れてゐる目白の聲に心を配りながら歩いてゐる男もあれば、寫生に行くのだといふ商業女學校の三年の竹組の生徒が三十四五人、圖畫の敎師の丸野先生に連れられて抑へきれぬ春の歡びを隱々として語らひながら天滿宮の方に上つて行くのにも遇つた漢陽公園から南山へ拔ける道は

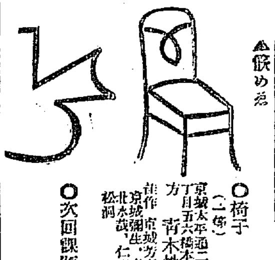
◆雪解けのせいか草履では歩かれぬほどに

◆道が惡いけれどもそこを通り拔ければ天滿宮から京城神社の附近一帶にかけて春の氣分が溢れるやうに漂ようてゐる、十七日の日曜あたり春を訪ね寄る人で賑はうことであらう

●京俱書畫展覽會
京城俱樂部にては本月三十一日午後一時より同四時迄俱樂部樓上に於て擧者物書畫（日本畫）展覽會を開催すべく夫々各方面に向へ珍藏物出陳の勸誘狀を發したり出陳希望者は二十五日迄に各部庶務委員へ申込まれたしと因に同俱樂部としては左記の諸氏に展覽會特別委員を依囑したり

有賀光豊、山口貞昌、生田淸三郎、澤田豐丈、工藤英一、和田一郎、岡友衛、矢野義二郎、金谷充（以上）

讀者文藝（一等には五十錢の郵便切手を呈す）
▲飮める



○椅子（一等）京城太平通二丁目五六橋本方　青木性

佳作　京城　芝城生　京城　北水生　仁川　松洞

○次回課題

見習文選工募集
年齡十四歲以上十六歲迄の內地人男子にして尋常小學校卒業程度のもの五名見習文選工として採用す希望者は自筆履歷書を携帶本社庶務部へ申込まれたし
京城日報社

讀者文藝 課題及び募集規定

□募集規程 ▲用紙は端書又は同形の用紙一枚毎に雅號又は姓名の外に住所氏名明記の事▲一等に五十錢…

大阪期米
△十六日後場　△當限寄付…七錢と跳ね六錢二三節六錢より三錢四錢四節大阪樓らざる入電なりしも跡小商き移りありて依然三四錢を採合ひの折柄大阪止め小安か

平均値段	
一節	二十二圓メ七
二節	二十二圓メ五
三節	二十二圓メ四
四節	二十二圓メ二

天氣　晴れ

商況

東京期米特電
十六日後場　一番　二十六圓十五錢　二番　…

兵庫期米
十六日前場　先限寄付　二十六圓メ六〇　二番　メ二錢

大阪株式特電
大阪株式特電（各銘柄相場）[illegible]

大阪三品特電
[illegible]

大阪期米特電
十六日前場寄付
三月限　三五七、九五
四月限　三六六、五五
五月限　三六六、四五
六月限　三七〇、〇〇
七月限　三七〇、五〇
八月限　三七一、〇五

下關期米特電
十六日前場　二節　二六、二〇　三節　二六、〇〇　四節　二六、〇四

雜報

●二品七十圓臺
大阪三品今前場は當限三百五十七圓九十五錢六限七十圓丁度先限は…

●臺拔き一圓五錢
…

●昂騰つて綿糸も龍レ
…

●一十一圓五錢　三銘十一圓二十二錢五厘
…

●製粉依然氣迷
內地製粉は最近の出來値は…

●混沌狀態
…

●材料の突發　今後新規
…

●出制の限程度明瞭
…

●正米續々小安
米は據米筋依然見送り狀態に…

●歩調に氣配ヂリ安
…

日より更に十錢方小弛
…

●大豆更に低落
東來下向に轉ぜし大小豆は買人氣の手控へより氣配更に軟弱となり相場は大豆上品十七圓中七十錢下十六圓七十錢中小豆上十八圓中十七圓下十五圓七十錢と前日に比し大豆二十錢小豆五十錢方低落せり之を高値より見れば大豆百丁乃至百二三十方暴落になりし値頃なれば今一押し安値を見んや形勢なり

●支那栗漸騰
支那栗は輸入困難の事情もあり在荷の減少に伴ひ賣氣更に衰へず一方には人氣次第に引締まり今朝は上品二十一圓三十錢中二十圓七十錢次品二十圓三十錢と十錢高なりし

●豆も下押し
他の穀物相場は上品十二圓七十錢次品十一圓四十錢と約二十錢安の見當となり商内も多少あり安に連れ末品も又漸く軟化の色あり

●砂糖好氣配
砂糖は今一段人氣引締まるも先高見越しの折柄分姿勢小戻りの報あれば問屋の內意益々強きに市中値もゼーの十三圓六十錢處に小締まりたり

●支那棉は強硬
支那棉は產地綿盤筋は一齊に堅調を持續して居り何地棉花業者は前途を見越して思惑的買進み殊に盛んなるため現物益々品薄を來しし市況頗る強硬を示せる有様なれば前途商氣配にも免かれず

下關相場
▲朝鮮米は依然不味別段買り急ぎもあらざるに市況安しと云ふにもあらざるも何分內地米の不勢と大體緩商なる爲目自然買氣の進まざる爲め賣れ行き鈍惰にて市況前自から安に入落したるは玄米二百五十五匁白米三百六十八匁等なり
▲大豆は依然軟弱　其後壹州物五百依平壤產三百八十匁平壤產百一匁等の輸入ありしが矢張大部分先約定物にして…

仁川正米
一般の人氣漸く多く本日三千俵位…相場は神力雙六錢三四錢…

釜山穀物（十三日）
▲正米（安保合）相變らず當市場は…
三四十錢

仁川期米
▲十六日前場（小堅し）
▲第一節　當地前寄未著にて當地先二十二圓○
▲第二節　大阪天候
小雨前寄二十六圓○四錢と昨止より二錢安の入電…

生魚市場
[illegible]

市場雜觀
…

各地商況
…

南大門の廻穀
…

北濱たより　株式賣募び
…

仁川米豆取引所
十六日の五月限
十五日後場
前日と比較

田中金兵衛商店

仁川期米

▲十六日後場 大阪電報未着にて當地中限二十二圓八錢先限五錢と二錢高に寄付 後場當限出來不申 △中限一節二十二圓〆八錢四節〆八錢 △先限一節二十二圓〆五錢六錢七錢六錢五錢六錢二節〆六錢五錢四

十六日の五月限 後場 寄付 二十二圓〆五錢 [illegible] 二十二圓〆七錢 掲 高値 二十二圓 安値 二十二圓 [illegible]

前釜山入港さくら丸二三等客 一等（四名）橋本貞夫、同植子、山本鶴一、外人一名 二等（五十名）井上次郎、大谷せつ、[illegible] 同正治、大黒ほつ、吉田捨一、[illegible] 西市、加來鶴一、同すみ、同公正、[illegible] 十五日午後[illegible]入港[illegible]丸一二等客 [illegible] 松井國太郎、同すゞ、同平八郎、東野辰治、友永顯造、同てじゅ、同敬、吉村すゐ、北川西海、岡巳[illegible]之助、伊田謙三郎、同きく 三等（二百十三名） [illegible] 茂隆、玉戸與[illegible]泰、山本千代太郎、川上三郎、佐野[illegible]平次、同きわ、脇坂京之助、同千代、川合正平、同榮一、同みわ 三等（百五名）

▲川柳[illegible] 十七日 十八日 十九日 二十日 廿一日 ◉物は付 珍らしいものは 十八日 十九日 二十日 廿一日 廿二日 ▲謎「新聞とかけて」 ▲二日病時事 ▲下句付 鎖める日

[illegible]發表後一週間以内に到着の分又は同案[illegible] 見逃告者には五十錢郵券を呈す 但何番何號と明記に限る▲宛名は京城日報編輯局懸賞文藝係

過激派益強大ならんとす
◆滿洲里危し—各地哥薩克蹶起◆

滿洲里の形勢は次第に危殆に瀕してくるやうだ、哥薩克の手によるダウリア西部の鐵道破壞後過激派軍は急ぎ修復して軍用列車の通行に堪ふるやうになると直ちに急激な進擊を開始してダウリアを忽ち一蹴して其の優勢なる部隊は漸次確實に東進して來る、ダウリアに於ける哥薩克の敗亡は餘程慘めなものであつたらしい、何分敵は二倍の兵數を有する上に砲擊を加へられたので武器不足の哥薩克軍は戰鬪一時間餘で全敗して、シャラン（ダウリア東部の高地）に退却した其處で必死の抵抗をして暫く支へてゐた、滿洲里に居たセミヨノフ大尉が此の急報に接して將校三百名兵卒三百名を急行させたとは既電の通りであるが其後の諸報道を綜合するにどうも此の援軍ぐるみ復た敗走したものらしい、チタの哥薩克は全く全滅の悲運に遇ひ過激派軍の手に捕はれて既に死刑の宣告を受けた哥薩克將校は四十名に及ぶと云はれる有樣である、のにせめてセミヨノフだけは多少何らかなりさうだと期待されたのが今日の所では近く捲土重來說を唱するものあるも事實怪しいやうだ……鐵道は修復する、イルクッタよりの來援はあつた過激派はダウリアの哥薩克を一蹴したし愈よ國境滿洲里に迫つて來た、いくら支那兵でも此れには默つてゐられぬと見わて抗議を申し込んだ、所が過激派側の回答に曰く「吾人は支那人乃至支那軍隊に危害を加へんとするものに非ず、吾人の國境通過の目的は唯彼のセミヨノフが憲法擁護の美名の下に橫暴なる振舞するを膺懲せんがためなり」と、支那側は又之に對して『貴軍の目的が那邊に在るかは問ふところに非ず、吾人は如何にせん貴軍の行動を以て東亞の秩序保全と兩立するものと見做す能はず、若し吾人の要求にして容るゝなくんば相當の處置に出でん』と大見得を切つたさうだ、昨年末の哈爾賓騷擾以來馬鹿に氣の荒くなつた支那軍隊は戰へば必ず勝つものとでも思つたのか、哥薩克軍と支那軍とはわけが違ふぞ、と云ふ程の勢で反過激派の行動を取つてゐるらしいが今後が見物である

◉東省問題より寧ろ北滿問題
◇北京にては如何

東三省巡閲使問題は最初は北京政府の考案中なりとか張作霖氏の野心に出づとか傳ふるも兎に角目下の支那は政局動搖中北京に於ては到底東省を顧慮する遑なく又張作霖氏の要求なりとするも斯くの如き重要問題が啻に一省督軍の野心を以て進行し得らるゝものに非ざる可く其の實現するに到るや否やは支那時局の推移に依らざる可からず事情斯くの如くなるを以て北滿出兵の如きも目下の處眞面目に考究し居らず恰も對岸の火災視し居る感なき能はず之を要するに目下の支那は只內爭に日を送れる狀態なれば一朝時局解決の後は東省問題より北滿問題に熱中し來る可しと

◉政局の歸結は
◆段派の成功か

北京政界は未だ何れとも色彩不鮮明なる混沌たる情態にして馮總統の心中今や恐怖狼狽の氣味あり常に各方面よりの牽制を脫する事能はず李純氏罷免の如きは裏面の私交上に關する金錢問題等が種々複雜なる背景を生ずべきを虞れて時局收拾に何等活路を開く事を得ず政局の歸結は結局段派の成功を見るやも知れずと傳へらる

◉面目を改めんとする
◆本溪湖の事業◆

◆開發の速度 本溪湖は煤鐵公司事業の擴張と奧地の開發進展とに伴ひ近來益發展し人口も日に月に增加し目下既に內地人口四千に達せんとする盛況を呈し居れば從來の諸設備にては到底滿足し得べからざる狀態なるを以て滿鐵地方事務所にては大正七年度に於て大要左記の事業に就き擴張設の計畫ありと

◉市街地擴張◉ 從來の市街地中殘存せるは僅々四千坪許りに過ぎず是れのみにては到底本年中の市街擴張は不可能なるを以て更らに市街地の擴張を計るべく

◆雨水道整備◆ 上水道は其の規模小なるを以て人口一萬に對する設備に擴大し下水道の設備不完全なれば是れを整備し以て上下兩水道の完全を期すべく

◆病院の新築◆ 又從來の病院は市況の隆盛に伴ひ漸く狹隘を告ぐるに至りたれば是れ亦其の規模を擴大すべく新築移轉の豫定也

◆其他の設備◆ 其他尚ほ新事業あれど小規模のものゝみなるが近來傳染病の流行比較的多き由なれば衞生上の設備に對しては特に留意し諸設備の完全を期すべき方針なりと、昨年來腸窒扶斯痘瘡及び猩紅熱の爲め崇れる損害は甚だ尠少ならざるものありし由なり

◉木材業者大會
◆開催期は明年春季か◆

昨大正六年福岡に第一回木材大會を開催したる全國木材業者は其の第二回を何處に於て開らくべきか懸案となりて決定を見ざりしが最近に於て急遽安東に於てすべしとの議有力となり略決定せんとせしも頃らに今回は高知縣高知市に於てすべしとの議有力となり遂に高知市に於て第二回大會を開くべく決定せしを以て第三回大會は多分安東に決定を見るべく其時期は是又春季解氷の候なるべしと

◉綿絲布の不振

四平街地方にては昨今の痛手甚だ後の創傷全く癒わず市況極めて沈滯なるに加ふるに從來鄭家屯以西に供給せし物資が四鄭鐵道開通と共に商業區域に變更を來し四平街ち郵鄭家屯にて直取引せらるゝ事となり幾分商勢を奪はれたる等旁かゝる原因なるべしと

◉滿洲土地調査

關東都督府臨時土地調査部にては金州民政署管內なる大孤山、小孤山、馬家屯、南山、金州街各會に於ける土地調査を開始する由にて該區域內に土地を所有する者は四月一日より十一月三十日迄の間に關東州土地調査假施行規則の規定に依り申告書を提出し標杭を前項期間內に當該官吏の指示に從ひ建設すべしとの事なるが前記土地調査は四月一日より着手せらるゝ筈

◉滿洲粟と朝鮮

四平街驛に於ける滿洲粟の輸出は沿線に冠たるものにして每年二三百貨車の輸出を見る例なるが重なる仕向地は既報の如く朝鮮にして昨年十二月より今年二月に到る三箇月間に於て發送又は契約濟のもの約百五十貨車に及べり而して本年は米價騰貴の爲め粟の需要旺盛なれば年度內に三百貨車を超過するに至るべしと

◉奉天驛と滯貨

奉天驛に於ける在庫品を除ける現在の滯貨噸數は持込貨物六百六十一噸、未取引貨物八百四十噸、未積込貨物二十五噸計二千〇七十七噸にして悉く特產穀類のみなり

◉國境貿易激增

國境新義州に於ける客月中の貿易額を見るに輸移出三十九萬四千二百三十六圓輸移入三十萬六千九百十四圓合計七十萬千百五十圓にして前年同月に比し輸移出に於て十一萬三千五百五十四圓輸移入八萬二百七十二圓合計十九萬三千八百二十六圓の激增を示し居れり而して其主なるものは輸移出品に於ては魚類石炭煙草等輸移入品は粟木材及び板等なりと

◉江東の好景氣

本年二月中に於ては舊年末資金決濟の關係より土地の賣買極めて盛なるを例とせるが今春は土地の需要者多く供給者尠く隨つて賣買件數皆無の狀態にして一般農民も穀物の賣却を急がず市場の出廻も亦尠く補助貨の如きも結氷中流出を防ぎたる爲め目下の處甚だ閑滯を示し市場取引の景況良好なりと

◉養蜂業の有望

平南道に於ける客年中の養蜂事業成績を見るに蜂蜜五萬九千八百七十四斤二萬一千百二十九圓蜜蠟九十三百三十三斤四千九十九圓の製出にして其主要產地は寧遠郡第一位を占め年々增加の趨勢を示し居れり而して之等一般の販路は地方に需給さるゝに止まり未だ內地移出は僅々として振はざるも道に於ては產業獎勵上向後一層の改良と獎勵を行ふべく夫々計畫中にあれば本年の製產高は著しく膨脹するやも計り難しと

◉工業より見たる大平壤
◆將來の大進展

近時平壤諸工業界は著しき大膨脹を告げ昨年來會社及び個人經營に係る各工場は日に月に其數を增し昨年に於て三十二を有せし工場は現在五十二を算するに至り其本額の如きも六十四萬九千百二十三圓、製產高百五十七萬四千二百三十五圓職工數千二百四十七人動力を有するもの十一、四萬八千五百七十一馬力と云ふ素晴しい勢ひである、尤も之は個人經營及び三既設會社の工場のみを過ぎないが之に目下の未設會社其他計畫會社等を加ふるに至らば既に資本金は三千萬圓を超わなんとして居る。のみならず今や問題となつて居る東洋拓殖會社の平壤瓦斯會社買收、モンド瓦斯會社設立、さては兵器支廠の完成、精糖會社、製肥會社等の設立を見るに至らば將來の平壤は平元鐵道竣成と兩々相待ち實に朝鮮の商工業地として大平壤と誇りとすべき土地であつて大平壤の名稱も敢て恥ぢざるべしと

◉三菱製鐵所の支那人夫
◆今後大募集

三菱製鐵所に於ては事業進捗に伴ひ黃州郡松林面鐵山及び載寧郡銀山面鐵山に使用すべき人夫として支那人勞働者を使用することゝなり滿洲方面に於て募集中なるが三月十三日第一回約四百名を列車二輛に滿載して兼二浦に輸送し來り即日鐵山に收容せりと

禪林佳話
▽幅なしの大馬鹿
‖南洲翁の胆略‖

◇南洲が蓋世の英雄であつたことは、茲に贅するまでもない。南洲の奇傑坂本龍馬は『西鄕は實に馬鹿だ大馬鹿だ、ただその馬鹿さはどれほど大きいか幅が知れない』と。後に海舟翁はこの評に評して『評された者も評された者だが評した者も評した者だ』と云つたさうだ、英雄の心事は英雄のみよく之を知るか

◇翁は十七歲から二十八歲まで前後十餘年の間、福昌寺の無三和尙に就て眞參實究、曾て一日も怠つたことがなかつた。無三和尙は機鋒峭峻の善智識であつたが、翁の大器なるを見て嚴しく鉗鎚を加へた。流石の翁も和尙の辛辣の手段には全く閉口したらしい

◇翁は常に後進に告ぐるに『人を相手とせず、天を相手とせよ。天を相手にして己れを盡し、人を咎めず、わが誠の足らざるを尋ぬべし』と云つて居つた。この語實に翁の膽量と誠心とを偲ふべきではないか。

◇翁が江戶城受取りの大事を目前に控へて毫も心を動かすことなく、衆吏の戰々兢々たる間にあつて餘裕綽々、海舟翁と心機相應じて德川氏の最後を全くし、江戶の生靈を鐵血より救ひ得たるものも、決して偶然ではない

◇翁が生死巖頭に立つて、能く維新の宏謨に參畫して偉勳を奏した、その偉大なる力の由つて來る處を見るべきである

◉軍紀極めて嚴なり
張氏の南征

張作霖氏の陸續派遣せる奉天征南軍は入關の當時地方人民は勿論北京朝野にも大なる疑惑の念を與へ地方に於ては一大恐慌を來しつゝありたるも入關せる奉天兵の軍紀は極めて嚴肅にして彼の張勳將軍が北京に入りたる時とは全く其の趣を異にし支那兵特有の放恣なる振舞を演ずる虞なき模樣にて目下奉天軍の根據地郎房には步騎兵若干の奉天軍在るも同地人民等は何れも之れを歡迎し居れり

◉大東溝既に全部解氷
◆安東附近も二三週間內には◆

本年は近年稀れの溫氣なる爲め鴨綠江の解氷期も早かるべしとは一般の等しく豫想する處なりしが下流大東溝龍岩浦一帶は十三日を以て全部解氷したれば安東附近の解氷も最早一週間を出でざるべき見込みなり、因に大東溝附近の解氷は昨年よりも六日間早しと

◉鴨綠江岸馬賊
住民出動對抗

最近其筋の情報に依れば二月十二日午後七時平安北道[illegible]支面[illegible]在住鮮人金明俊（三七）方へ安圖縣次月と稱する山麓より來る全部銃器を携帶せる馬賊五名同人方に闖入せんとしたるを同地

◆住民全部出動し對抗したる爲め馬賊は遂に其の意を果さず次月山麓に向ひ逃走せり又同月二十七日火繩銃又は五連發銃を携帶せる二十六名の馬賊團は同夜通化縣八道溝方面より來り[illegible]及び渭原郡[illegible]鴨綠江岸より約五里の奧地支那伐木勞働者の

◆納屋に一泊し翌二十八日午前十一時同縣[illegible]石灰溝三道溝[illegible]分山居住興曾の支那人商店方を襲ひ現金七十餘圓を掠奪したる奧地方へ遁竄せり三月一日右情報を聞知したる雲峯派遣所對岸[illegible]毛子巡察局にては巡警二名を狀況偵察の爲め被害地に向け出發せしめたる外討伐隊は別に出動せず

◆餡かけ饂飩◆ かまぼこは板から離したまゝの大きさで二分位の厚さに切り豆腐皮は濕布巾で少し包み置きしんなりとした所五分幅二寸位の長さに切りかろく一むびして饂飩の煮出汁醬油で下煮をなしみつ葉は茹でゝ一寸五分位に切りますそこで饂飩はこれもやはりさつと湯に通して水を切つて平鍋又は丼の底に適宜に入れ其の上にかまぼこ豆腐皮みつ葉をよくのせてのせならへ葛あん汁をかけおろし掬みなのせて出します葛あん汁は饂飩の出し汁三合に醬油六勺程と砂糖ほんの少し入れ、葛粉を水溶きし固まりの出來ぬ樣に少しづゝ差し入れ激しく火が通つた處で下ろします

◉安全確實に儲かる
圖三百圓で千圓內外の利益圖
‖此の期間僅かに十日間‖事實が之れを證明する‖
▽疑ひ深い人は儲からぬ△

「銀行や郵便局へ金を預けて置くなら勸業債券を買つた方が好い、年五分の利子が取れて其上に籤が當れば儲かる」と云ふので近頃大分勸業債券を買ふことが流行してゐる、處が籤なぞは却々當るものではないから其中には「ナンダ馬鹿々々しい」と云ふ氣になつて

◆兩替屋 なぞへ持つて行つて賣買にして了ふ人が隨分あるが、これは甚だツマらぬ事である、同じ債券を買ふにしても、當にならぬ籤なぞに眼を奧れなければ大に儲かる方法がある、其方法は何かと云ふこ、先づ籤の濟んだばかりの債券を搜して買ふ、籤の濟んだばかりの債券は市價が低落して、時には十圓券が九圓何十錢と云ふ安値で買へる、それを三四箇月も持つて居ると復

◆抽籤期 が來る、スルト十圓券が十一圓位迄も昂騰するのである、それでも買手が澤山あるがある、其時前に買つて置いたものを賣れば、一枚に付二圓內外の利益、十枚なら廿圓、百枚なら二百圓儲かる譯である、籤なぞを當にするより此方が餘程よい、併し實を云へば勸業債券なぞでは未だ〳〵儲けが尠い、債券を買ふ金があれば其金で確實な銀行會社の株券を買ひ、少しく頭を働かせて右の方法を應用すれば自分から驚く程の利益が得られる、勸業債券では一枚に付高々二圓位の利益に過ぎないが、株券だと安い時に買へば

◆一株で 百圓も二百圓も儲かる、一例を擧げれば日本郵船株式會社と云へば子供でも知つて居る日本一の大會社である、前期は七割の利益配當をして居るが、この會社の新株は去る十月廿五日の値段が百八十一圓であつた、其時買つて置くと僅か十日後の十一月五日には値が上つて二百七十三圓五十錢になつたのだから、其時に賣れば差引一株に付九十二圓五十錢、十株で九百二十五圓の利益が得られたのである、たつた

◆十日間 に僅十株で千圓近い利益が有つたことは實に驚くべき事實ではないか、若し又賣らずに持つてゐても會社から年二回五割乃至七割と云ふ莫大の利益配當が來る。此の如く郵船新株券を買つて儲けるには十株で千八百十圓の資金が必要で、それ丈の金が無ければ出來ないやうに思はれるが、此處にそれだけの金を積まなくとも、一株卅圓十株三百圓の手付金を出せば同株十株を買占めて置くとが出來たのだ、そして十一月五日に賣れば矢張り前と同じ九百二十五圓の利益を得られるのである

◆三百圓 の資金で僅か十日間に九百廿五圓（三百圓の三倍）の利益！、こんな面白い金儲けは株券以外には無いと云つても宜からう、上記はホンの一例に過ぎぬが、非常の會社の株券なら如何なる株であつても、大抵一株四五圓から廿圓內外の手附金で買つて置けるのだから少し

◆上手に 買ひさへすれば僅の資本で前例よりももつと〳〵利益が得られる、何と云つても我國には神武天皇以來見た事もない十何億と云ふ金が入つたのみならず今後も每月何千萬圓と云ふ金が這入つて來るのだから大戰中株券はまだ〳〵値が出る、その株券も高い時に買つたのでは利益が少いが、今日のやうに安くなつた時に買つて置けば必ず利益がある、儲ける時は今である、現に昨年來

◆本社を 信じ本社の會員になつて株券を買つた方々の中には隨分儲けた人が澤山あつて、その狀態は積んで山をなす盛況である、若し疑ふ人あらば本社へ來て實見すれば分ることである、但し株券を買ふにも確實なもの、儲けの多いものを選ばねばならぬ、されば如何な株券を買つたらよいか、又手附金で買ふ方法はドウするものか、夫等の事は總て誰にも分るやうに詳しく本社發行の講錢錄に書いてある、入會希望の方は先づ

◆ハガキ で東京市神田區一ツ橋通町八株式會社富強世界社へ「有價證券研究會規則送れ」と申込まれよ直ちに內容のよく分る印刷物を無代で進呈する（小西富強世界社長）

獸醫 ▲病室設備 矢野家畜病院 京城若草町九七番地

セントル、ヒユグル 口徑拾二吋 壹臺 ポンプ ベンドプーパルプ共 鐵管貳拾五尺 右割安賣却致度候 來談願上候 器械材料商 京城南大門通五丁目 中村幸商店 電話二三五番

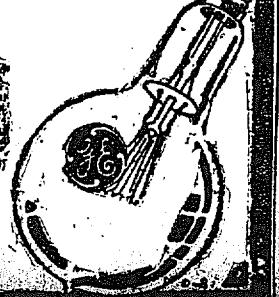
看護婦科生徒募集 四月一日新學期開始ス入學志願者ハ三月十五日以後ノ官報ニ據リ同二十八日迄ニ願書ヲ提出シ二十九日午前九時迄ニ試驗ノ爲出頭スベシ 朝鮮總督府醫院

新式灸術 灸あとにかたも付かず 諸病根治す 京城本町二丁目釘本商店前入坂下 伊藤灸術專門院

コロタイプ印刷 繪葉書製造、諸記念寫眞帖 龍山漢江通八（電話五三六番） 門田寫眞製版所

朝鮮總督府見習試驗 來ル四月十四日本府及各道（京畿道ヲ除ク）ニ於テ見習試驗ヲ施行ス志願者ハ三月九日、十一日、十二日朝鮮總督府官報廣告見習採用試驗志願者心得ヲ參看シ三月三十一日迄ニ試驗ヲ受ケムトスル官廳ニ出願スヘシ 大正七年三月 委員長 荻田悅造

耐火煉瓦 ▲蠟石煉瓦（三十番より三十四番）▲シヤモット煉瓦（三十番より三十四番）▲ダイナス煉瓦▲マグネシヤ煉瓦 ▲耐火モルター其他耐火物各種 平壤府橋口町（電話壹武五番） 合資會社 京谷商店


工場の作業 能率增進と 商店繁榮の秘鑰 マツダC'ランプ （瓦斯封入電球） 東京電氣株式會社 門司出張所 門司市西本町三ノ二九 電話長四六〇六八二

內科 呼吸器病 小兒科 腸胃病 婦人病 京城若草町大通り 今村醫院 電話一八三番

謹告 第一位 二月中當店賣買出來高 二月中の賣買は幾に暴利取締令施行の結果總解合後單に四月限のみの賣買に不拘引續き第一位を得たるは是偏に御愛顧の賜と感謝に不堪候尚新市五月限發會と共に一層の御股賑を希むるものと被存候間希くは萬全の御遊覩御願申上候 大阪堂島米穀取引所仲買人 曾我一郎商店 電話長北 四八番 二四九番 二六六番 二五〇番 二五一番 自宅電話 西ノ宮 一八二番

特許 專賣 ヨヂスピラチン 吸器病新藥 驅梅新藥 ヨヂシン 圓形禿頭病新藥 ヨヂシン軟膏 本舖 大阪化學研究所 大阪市東區島町二丁目

旅行用具一切 朝鮮特產 ワングル製鞄 專賣品 柳製鞄 毛布一枚續 三圓五十錢以上各種 東京製鞄各種 防水布 マント各種 魔法瓶及中瓶取替 鞄製造販賣 京城本町一丁目 高木旅行用具店 電話一三四番

塚原卜傳

第十八席　悟道軒圓玉口演

亀井茲矩が天狗昇飛切りの術を以つて其場を飛去つたとは知られ一同の見物アレは天狗だ〱といつて騒いで居る、塚原も不審に思ひましたが對手が居なくなつてしまつたから何うにも仕方がない打折つた槍の蝮首を取上げて見て居る神官其れに進んで　神『イヤ仁科氏どやら天晴なる御技倆感心いたしてござる、お約束通り最早對手になるべき人もない樣子でござるに依つて弓矢旗日本一の額面を奉納する事に致す、左樣御承知下さるやう　小『恙けなき仕合せ　神『就ては失禮ではござるが手前お見受申す處常陸浪人仁科與四郎と仰しやるは一時の假名にして別に本名がお在りではないかと心得ます、如何で　小『恐入りました、神を僞り奉つるは罪深ければ何も彼も申上げる、誠に仰の如く仁科與四郎とは一時の假名、全くは上泉伊勢守秀綱の門人、常陸國塚原の住人、塚原小太郎勝義と申す者』神官之を聞いて大に驚き　神『偖は高名の塚原殿で在したか、成程今日の勝負見事なる御技倆兼て世評に上泉の龍と稱せらるゝも尤も千萬』茲で神官が改めて大音に　神『當年の勝負、見事なる一番の勝に依つて仁科與四郎事、本名塚原小太郎勝義を以つて日本一と定め、弓矢及び紅白の旗を赤城明神より賜ふものなり』と呼はる、之れを聞いて一同アッと驚き　○『偖はアレが塚原であつたか、道理で強いと思つた、上州の龍といはるゝも尤もである』と盛に唱へて居る、中にも甚く喜こんだのは丸目藏人、之れにて上泉の恥にもならず、我流名を愈々發揮させるやうになつたと大悦此上なく、上々の首尾で塚原小太郎日本一の額を奉納して、丸目藏人に誘はれ赤城を下山する事になりました、此一番に依つて小太郎日本國中に其の名を輝かしたのは大したもの、集まつた武藝者も思ひ〱に下山する、塚原は丸目と共に其足でスグに上州箕輪へ參りまして師上泉伊勢守に目通りをいたしました、伊勢守殿未だ病中ではございますが塚原に遇ひ、偖其口から出羽の羽黒へ乘込んで膝丸入道を打殺した顛末を承はつて嬉し涙に暮れ　伊『弟子なればこそ危険を冒して恥辱を雪いでも呉れる、持つべきものは門人であるといつて手を取つて喜び給ふ樣子、次に丸目藏人が赤城の一條を物語りましたから伊勢守殿重ねて喜び其武藝の妙に達したる事を賞されました、時に小太郎が　小『最後は近江典膳と申す者と試合を致しました時、槍の柄を打折つたれば突入つて面を打たんとしたる時彼の姿は忽然として消え失せましたが今以つて不審に存じて居ります、彼は何といふ術でございませうか　伊『イヤ其れは拙者も未だ知らぬが其れぞ天狗昇飛切の術であらう、近江典膳と申す者は殊に依ると僞名であつて誠は西國一の槍の達人龜井新十郎茲矩に相違あるまい、豫て龜井茲矩は播州花隈の城主戸澤山城守に就いて其術を究めたと聞及んで居る、察するに危急に臨み其秘術を用ゐて其方の劍を免れたものと思ふ、其方もまた其妙術を得て居たならば打損じもあるまじきに殘念であつた、劍法の外に其ういふ術も心得て居らねばならん其方も之より花隈へ參り、山城守殿に面會して其教を受けては何うだ、定めし虎に翼を添へた如くであらう』といはれて小太郎大に喜こび　小『左樣なれば之より花隈へ參り戸澤殿に拜顏の上妙術を學び立歸ることに致しませう』と茲で恩師の言葉に從つて出立することになる、師秀綱初め一門盛んに送別の宴を開いて前途を祝ふ、小太郎勇氣盛んに一同に別れを告げ、箕輪を出立して上方筋へ乘込んで參りました。

三月十八日　九星　舊二月六日　甲子

本命四綠　[illegible]

演藝案内

黄金館
天然色活動寫眞株式會社京城蓬山一手代理店　電話二六三七・二三六六

當る三月十五日より ▲滑稽魔法正雜話十世紀スミー ▲澤村四郎五郎市川延十郎出演 ○舊劇 加藤清正 全四卷 [illegible] ○泰西活劇 野火 全四卷 ▲新規大作品臨時公開贈正二位勳一等功一級陸軍大將北辻繰 ○乃木將軍聖容の卷 [illegible]

壽館
京城本町　電話一〇五〇

當る三月十六十七兩日午後五時より 山村連春期大溫習會 山村内吉之助

▲和三生　藤住内菊江 ▲姫三社　しづや内つる子 ▲春の雨　坂内いち子 ▲京四季　木村ひろ子 ▲狂亂 [illegible] ▲越後獅子　（無）金すはる子、濱本さし子、（太子）こひろ子、しづ子 ▲園の梅　淺田しづ子 ▲浦島　町田まさ子 ▲御所車　藤住内菊江 ▲仕丁　清水席内あい ▲北州　松葉楼内いれ ▲鶴龜　[illegible] ▲老松　橘や内金奴、宮久酒家内久奴 ▲相模海女　清水席内小太郎、小豆 ▲喜撰　法師、ひろ子、御迎坊主、しづ子、はる子、つる子、とし子、菊江 ▲落人　おかる、菊永内菊子、勘平、清水席内、[illegible]

浪花館
明治町二丁目　電話二六〇番

○毎夜六時より開演 京阪落語若手一座語樂會 ▲落語（遊玉）▲落語音曲（笑三）▲落語手踊（遊生）▲落語音曲（花輔）▲手踊（三輔）▲落語（右圓遊）▲手踊（歌六）▲落語、音曲（圓都）▲大切喜劇（總出）入場料は[illegible]

大正館
櫻井町　電話八七三

當る十五日より特別大興行 ○新派お伽劇浮れ胡弓 全三卷 ○大活劇第七鐵の爪 四卷上映 [illegible]

壽座
京城壽町　電話五七八番

當る三月十二日より公演 世界的大魔術松旭齋天一嬢出演 天下一品さの瞬ある 自轉車大曲乘 師横井登輸祭瑞

プログラム…… 小奇術 大魔術 自轉車曲乘 奇術 應用喜劇 曲藝 飜譯劇

登場人員男女二十名出演ス

大好評の 京阪落語 語樂會も 愈拾七日限り 浪花館
不相變賑々敷御來館の程奉願候

有樂館
早川演藝部直營 活動寫眞常設館

當る三月十三日より公開 ○滑稽ヤクザ者 全三卷 ○人情劇 春鶯囀 全五卷 ○新派劇 新らしき女 全四卷 [illegible]

社員五名募集 給仕一名募集
履歴書携帯本人來談あれ
大連市三河町三十一號地
明治公債支店

汽車 京釜線（南行）同（北行）釜山連絡 京義線（北行）同（南行）湖南線（南行）同（北行）京仁線（仁川行）京元線（北行）同（南行）[illegible]

桃谷研究 試驗所創製

美顔ユーマー

效用いよく 知れ逼り 賣行ますく 盛!!!!

薄櫻色の鮮かに美しい顔色（ゆーまー）美顔ユーマー

■第一回の使用　ユーマーを唯の一度お用ひになるだけでも、その一日の顔色の美しさ、氣持の好さは何とも申されません。どなたにしても、ユーマーのこの作用には驚かずに居られません。

■二回、三回、四回　度重なるにつれユーマーは彌々獨特の作用を現します。いつ見ても、見るから氣持の好い、鮮かな、美しい顔色は、實に美しさの頂上で御座います。

■化粧下と荒れ止　この外にも、ユーマーが化粧下及び荒れ止として此上なく良い事は、一度お用ひになつた方々の御承知の事で御座います。

■無垢な子供の皮膚の樣な　あの汚れのない、シミや荒れなどを知らない、愛らしい、眞から綺麗なあの樣な色艶を保つて容貌の美しさを發揮すには、優秀なる美容液として、學理上にも、實地上にも、疑ふ事の出來ない作用を持つてゐるユーマーほど適當なものはありません。

桃谷順天館
東京市日本橋區本町四丁目（電話本局二三〇〇・一六六二・一六二七番）東京市麹町區有樂町一丁目（電話新橋二三六三・三九番）大阪市西區靱南通二丁目（電話土佐堀六四・七六・四八番）賀 部

◎月やく
月やくさまり不順のため食物胸につかへ時々頭痛を催し足腰下腹痛み逆上眩暈して何となく不快と思ふ人は一度用ひて見られよ、心配の方は[illegible]
東京四谷傳馬町停留場前　森田屋

淋病新藥 ツヨール
故下山藥學博士、慶松藥學博士證明、田中醫學博士實驗、朝比奈藥學博士、岩川醫學博士、加藤醫學博士、山田醫學士等の實驗の結果理想的内服治淋劑と確定さる ▲本品は殺菌力を有し且絶對に胃腸を害せず膀胱カタル、尿道炎、睾丸炎、腎臟炎、消渇等其他一般慢性、急性淋病に偉効を奏す
百粒入壹圓入拾錢　五拾粒入九拾五錢　三十粒入六拾錢
●說明書無料贈呈す　製造元東京市日本橋 ツヨール商會　▲發賣元大阪道修町 田邊五兵衛 振替大阪八六七番

なんの苦もなく禁煙のできる 一貫社の禁煙パイプ
（吸みながら禁煙ができる）ニセ物あり只圖を明にせんが爲見本進呈送料二錢
東京神田猿樂町三ノ一　振替東京三一二二七

當銀行ハ預金、貸附、爲替等一般銀行業務ヲ確實親切ニ取扱申候

朝鮮銀行
京城南大門通　電話（長）二二二番、（局）三一〇六、一二六〇、一二六一、六一二、一二六一
支店　東京、大阪、神戸、平壤、仁川、元山、大邱、釜山、城南、木浦、馬山、羅南、會寧、新義州、安東縣、奉天、大連、青島、長春、開原、四平街、旅順、遼陽、鐵嶺、吉林、哈爾賓、營口
出張所　傅家甸、龍井村、鄭家屯
右ノ外内外主要ノ地ニ爲替取引先有之候

京城日報　第五版
十七日朝刊（朝夕刊併せて八頁）

十六日の五月限　寄付〆二十二圓〆五錢　止　二十二圓〆一七　高値　二十二圓〆七錢　安値　二十二圓丁度

仁川期米　十六日後場　當期末著にて當地中限二十二先〆五錢と三錢高に寄付
△中限一節二十三圓〆八錢四節〆八錢
△先限一節二十二圓〆五錢六錢七錢六錢五錢六錢二節〆六錢五錢四

遊支偶錄　蘇峰生

(五六)受動的抵抗

文弱的、妥協的、權變的、巧詐的は、支那の國民性中、見逃がす可らざる特色也。而して其の最も强味とする所は、受動的抵抗にあり。古往今來、支那人との折衝に於て、名に勝つて、實に負くる所以は、職として此の作用に由らずんばあらず。牛に角あり、虎に爪あり、蜂に毒あり、蟹に劍あり、支那人に此の受動的抵抗あり。

日本人は火の如し、支那人は水の如し。火の性や猛也、然も久しきを持する能はず、水の性や緩也、されど混々として盡きざる也。支那人は、事面倒となれば、兎も角も一應承服する也。されど是れ只だ口先のみの承服にして、決して之を實行せざる也。所謂る彼等の十八番なる受動的抵抗は、此れよりして、そろ〳〵と發揮し來る也。但だ餘りに嚴重に督責すれば、其場丈は、一寸胡魔化す也。されど忽ち本の木阿彌となる也。如何なる有力なる征服者も、此の作用に對しては、如何ともする能はざる也。要するに面從腹否とは、此の受動的抵抗を說明するに、最も適當なる言葉也。

過般來東三省に於ける、日本人の商租權一件の如き、乃ち其の一證也。支那官憲は、商租權を得んとする日本人には、直接何等の妨害をも加へざる也。されど日本人に向て、商租權を讓與せんとする、支那人に向て、其の迫害を加ふる也。此を以て日本人の商租權は、有名無實となり居る也。卽ち彼等は日支交涉の上に於ては、我が要求を承認しつゝ、其の實行をば、沮害する也。

蓋し短慮性急なる、日本人に取りては、此の受動的抵抗程、癖に障るものはなし。されど日本人の癖に障ると否とは、支那人の關する所にあらず。有體に云へば、寧ろ其の癖に障らんことを希望しつゝある次第なれば、流石の日本人も、之には閉口せざるを得ず。

宋以前の繪畫(七)

於京城倶樂部　今關天彭氏談

丁、畵人傳と短評(承前)

既に逃げて東晉となつた。そこで中國衣冠の族と誇つた漢民族は、江南風景の好い處に行つた上、思想上の大變化を起し、所謂六朝金粉の華麗なる文學の流行と共に、道教、佛教の流行となり、跡を山林に隱す隱者風の思想が日に月に增して來た。そこで、だん〳〵山水畵が人物畵の背景から獨立して來る運となる。さて晉は宋に亡ぼされ、その宋に六朝三大家の一人なる陸探微が出た。この人は六法を備へて居ると云はれ、始めて畵道運筆の法を畵の上に應用した。この人も多く人物畵卽ち佛像古聖賢の像を畵いたのである。

陸　探　微

窮レ理盡レ性、事絕二言象一、包レ前孕レ後、古今獨立、非二復激揚所一レ能稱賛一、但價重之極、於二上上品之外一、無二他寄言一、故屈標第一等。(古畵品錄)

次が齊でこの時に謝赫が出た。この人、人物畵の泰斗で、その畵風は一世を風靡した。前に話した六法と云ふとはこの人の作つた古畵品錄に始めて見れて居るのである。

謝　赫

右寫二貌人物一、不レ俟二對看一、所レ須一覽便工、操レ筆點刷研精、意在二切似一、目想毫髮、皆無二遺失一、麗服靚粧、隨時變改、直眉曲鬢、與レ世事新、別體細微、多自レ赫始、遂使下二委巷逐末一、皆類二效顰一、至二於氣韻精靈一、未レ窮二生動之致一、筆路纖弱、不レ副二壯雅之懷一、然中興以後象レ人莫レ及、(續畵品)

次が梁で、この時代には六朝三大家の一人たる張僧繇が出た。この人は佛畵、聖賢の像に最も傑出して居る、當時梁の武帝が佛敎を好んだので、佛畵の流行を惹起し、また武帝が人を印度にやつて、祇園精舍の佛像を模寫した事もあつた。そこで印度の壁畵が支那に入り從つて印度の畵風も入つたのである。張僧繇の創めた沒骨皴は印度畵法から脫化したのだと云ふ人もある。

張　僧　繇

右善圖二塔廟一、超二越羣工一、朝衣野服、今古不レ失、奇形異貌、殊方夷夏、實參二其妙一、俾二晝作夜一、未二嘗厭怠一、惟公及私、手不レ停レ筆、但數紀之內、無二須臾之閒一、然聖賢矚矚、小乏二神氣一、豈可レ求レ備於一人、雖レ云二晚出一、殆亞二前品一(續畵品)

前述の人々はみな南朝の人であるが、北朝の方には北朝第一と云はれる北齊の曹仲達がある。この人は佛畵の名手である。唐の閻立本は、人物畵の大成者であると云つて居るから、餘程えらかつたのである。

曹　仲　達

師依周研、竹樹山水、外國佛像、無競於時、(後畵錄)

北朝は北齊から後周となり、隋に至つて南朝を併合して支那を統一した。この時に樓閣と人物とを以て一世に秀出した展子虔が出た。この人の人物の描法は、彩色で人物の顏をぼかし、さながら生きて居るやうだと云ふ事である。唐代の畵風は多くはこの人から流れ出た。また董伯仁が出た。この人も樓閣、人物の妙手で、展子虔と甲乙がないが、その居た所が山水の助なく、かの軍幕中に居たので、ゆつたりした所がかけて居るとの評である。

展　子　虔

觸レ物爲レ情、備該絹妙、尤善二樓閣一、人馬亦長、遠近山川、咫尺千里(後畵錄)

董　伯　仁

綜涉多端、尤精二位置一、屏障一種、無レ愧二前賢一(後畵錄)

要するに隋畵は樓閣卽ち界畵が特色である。さりながら之は煬帝が顯仁宮や汾陽宮などの大建築をして一世の奢侈を窮極した影響である。隋には猶鄭法士、孫尙子などと云ふ人物、界畵の妙手が居て、畵界はナカ〳〵盛んであつた。

唐となる。唐初は隋風を受けて樓閣、人物に長じ、ことに纖密にして巧麗な畵風が流行し、その代表的畵人としては閻立本を擧げる。この人は秦府十八學士圖、凌煙閣功臣圖なども畵いた。兄の立德も聞ねた妙手である。

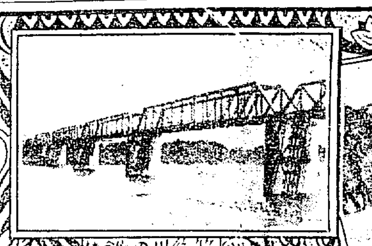
閻　立　本

學宗二張鄭一、奇態不レ窮、變レ古象レ今、天下取レ則(後畵錄)

唐は玄宗の時代を極盛時代とする。この時に當つては詩に於て李白、杜甫の大天才が出で、また岑參、高適等の詩人が出て、舊來の詩格を一變して今體を造り出した。同時に畵界では吳道元が出た。この人は前人の妙技を集めて大成した人で、殊に壯大の趣に充ち、人物、鬼神、樓閣、山水、みな巧みである。その發明にかゝる吳裝は、焦墨の中にさつと淡彩を施したのである。漢魏六朝以來畵界の大部分を占めた人物畵は、この人以後隆盛となつた、また故實を重んじて古畵もこの比から想像を雜へた實用的の文字と効用を同じうした實用的の鑑用の物となつて來た。

吳　道　玄

古今獨步、前不レ見二顧陸一、後無二來者一、人假天造、英靈不レ窮、衆皆密二於盼際一、我則離二披其點畫一、衆皆謹二於象似一、我則脫二落其凡俗一、彎弧挺刄、植柱構梁、不レ假二界筆直尺一、虬鬚雲鬢、數尺飛動、毛根出レ肉、力健有レ餘、數仞之畫、或自レ臂起、或從レ足先、巨壯詭怪、膚脉連結、過二於僧繇一矣(歷代名畫記)



筑後川の鐵橋

太宰府梅林

鹿兒島市街

九州視察團

視察團を歡迎する九州

◆福岡市　共進會協贊會歡迎會(四月十七日)◇福岡官民招待會(十八日)

◆熊本市　熊本官民有志歡迎會(廿日)

◆鹿島市　鹿島市官民有志招待會(二十日)

◆久留米市　博覽會協贊會歡迎會(二十一日)

◆大分市　大分官民有志招待會(二十二日)

兩社主催九州視察團の擧は、東洋各縣各市の官民諸氏に多大の同情と非常の好感を以て迎へられ、旅行に關する諸般の準備の爲めに汎ねく視察地を歷訪したる我社準備委員との間に協定、四縣五市に亘り前後六回の盛大なる歡迎會催さるゝ事となりました。卽ち等にして斯る絕好の機會を利用し互に交驩すると同時に席上各所共選拔代表者の趣味饒かに實益多き講話ある事に決定、更に各視察地に於て團體見學の際は、何れも其地官民有志の代表者十數氏は團員の爲め先導說明の勞を執らるゝ事となりて居ります。

主催　京城日報社　每日申報社

錺

二十一　布施生譯

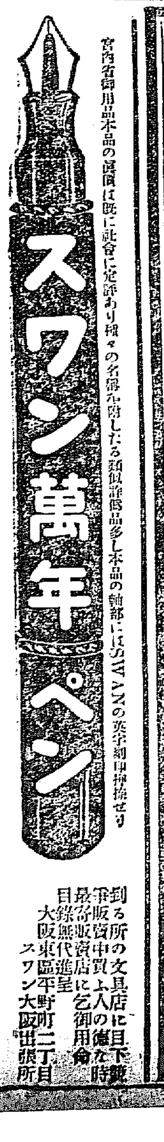
其内ちらほら人通行が始まりましたので私は氣がついて力なく立上りこつそり宿へ歸りましたが其儘凝と就いてしまひました。すると夜が明切るか明切らぬに何と知して尋ね當てたものか尋ねて參りましたのは師匠の糟抛でございます、平生の剛い聲を今日はいやに優しくして『おい纖衛どうだ氣分でも惡いのか、平生夙起でよく稼ぐ手前が珍らしく朝寢だの。いや時に今朝こうして態々訪つてきたのは外でも無い、手前を出したのは全く己が惡かつた、腹も立たうが其處は師匠と弟子の事だ、ならぬ處も勘辨して如何だもう一度宅へ歸つてくれないか、娘との事も特へてみれば何も手前一人が惡いのぢやあ無い、實際手前に往かれて仕舞ふと何處を見ても手が足りなくて就中昨日引受けた品なんざあ手前が居て手傳つてくれなけりや到底滿足に出來上りはしない。手前が我慢してもう一度宅へ歸つてくれたなら技倆と謂ひ氣立と云ひ己の繼嗣としてちつとも恥かしく無い手前の事だ其内娘と祝言さして二代目纖地の株を讓るが――』餘りの白々しさに師匠ながら愛想が盡きて默つて居りますと師匠は恐ろしく面色を變へて『そうか、いや分つたわい、纖衛そんなら貴樣は何か外の用事があつて己の宅へ歸れないのだな、貴樣相應の所へ往くのかそれとも纖衛の匠へ恐れながらを極込む心算か、だが纖衛よくまあ考へて見ろ、己は之でも可なり名の通つた職人で加之に人も知つた慈善家だ、其己に髮入鬼の罪を被せやうなんて、へん餘り手間な事をすると却て手前が危いぞ、己が今日來たのは何も貴樣の爲込み顏が惡ろしくてそれで口留に來た譯ぢやあ無い、手前が出て仕舞つてからと云ふもの一時に寢れた娘の町子、手前に別れる位なら生きてる甲斐は無いと泣いて賴んだ何娘氣の一時の事打棄つて置けば其内には癒るだらうと取上げもせずに棄て置くと昔大變一日の中に痩衰へて見違すやうな變り方だ、仕方なく己も我を折つて、それ程に思ふならもう一度手前を喚返し行々は婿に取つてやるからと言聞かせると俄に元氣が出た娘の樣子、一夜の中に打て變つて今朝は又顏らしく咲いた薔薇のやうに生々して手前が來るのを待焦れてある、如何だ己に愛想は盡きたにしろ手前娘は嫌ではあるまい、娘の爲だ歸つてくれ』とこう口說かれて私は又ふら〳〵師匠の宅へ戾りました、門口を開けるや否飛出してきた娘の町子、其嬉しそうな顏、私は此時神樣に誓に立てゝ死んでも此娘には別れまいと思定めて仕舞ひました、

一ヶ年卒業
實業講習錄
新學期開始　會員大募集
總裁　大隈侯
會長　增田義一
副總裁　澁澤男
小學校卒業生は速に實業に來れ
小學卒業生の是非習はねばならぬ習ひつゝ實際の役に立つ
大附錄　書翰文習字
世間で毎日使ふ手紙の文例に一々手本を附て面白く敎ゆ
世の中へ出るに必要缺くべからざる出世の土臺となる學問を分り易く敎ゆ
見本無代進呈
大特典　▲本社發行書籍半額券進呈　▲入會金免除　▲水書草書進呈　▲獎學資金提供
學科　▲商業簿記　▲銀行簿記　▲商事要項　▲商業英語　▲商業作文　▲商業數學　▲珠算暗算　▲商業實務　▲商業地理　▲經濟講話　▲實業讀本　▲商品學　▲實業歷史　▲處世法　▲實用習字
會費　一ヶ月六十錢　二ヶ月一圓二十錢　三ヶ月一圓七十錢　六ヶ月三圓三十錢　一ヶ年六圓
東京日本橋南槇町實業之日本社內　帝國實業講習會

周易講義　大野雲潭先生題字　山田準先生講述　非賣品會員募集　郵券二錢封入申込次第會則及內容見本無代進呈　易學講究會　東京神田區裏神保町二　振替東京三五八四五番　全文館

鑛物分析　京城旭町一ノ七一　鮮滿工業社鑛務部　電話三〇六〇

男爵澁澤榮一著　龍門社發行
澁澤男爵畢生の事業たる一大史傳
德川慶喜公傳
總紙數四千二百五十七頁　コロタイプ九十六葉寫眞版　二千部限實費頒布　正價金貳拾圓　送料內地五十六錢
◆本書編纂の動機　前將軍德川慶喜公逝去の日東京市は毎戶灯を消し音を停めて、滿都哀悼の意を表したり。是れ江戶に於ける唯一の將星の殞墜を惜むのみか、明治昭代の隆運も此公に負ふ所ある感謝の念にあらずんばあらず。澁澤榮一翁、壯年公に臣事し、其恩に感ずるの餘、公の一大傳記を編述して其心事を天下後世に傳へんと思ひ立ちぬ。是實に今より二十五年前の事なりき。
◆本書成立の由來　始め之れを福地源一郎氏に囑託せしが、氏の逝去の爲め絕したるを、明治四十年更に國史學の泰斗たる萩野博士を主任として新に編纂所を開き、穗積、阪谷兩男爵を顧問に、三上博士を修者とし、編纂員數氏の手に一夜拮据、十年の歲月を費し三度の改稿を經て始めて稿を脫せり。本傳は四卷卅五章、年譜、系圖、記錄文書、引用書目を收め、首尾完全、毫も遺憾あることなし、從來蒿秘の影に包まれし幕末史の眞相は玆に遺憾なく發表せらるゝ事となりて、明治維新の大業は一層の光明を放つを見る、乃ち學界の一大慶事たり。
◆萬人必讀萬家の至寶　思ふに幕末天下紛糾の時に當り、公にして若し輕擧に出でんか、いかで明治の昭代を謳歌することを得べき。戊辰の際に於る公の隱忍苦衷を憶ふもの、誰か其高潔孤忠に感憤せざらんや。斯て本書は、一面には偉人を景仰せしむべき國民修養處世の規箴たり、一面には最も眞實なる當時を語る維新史也。萬人必讀萬家の至寶として、圖書館及各學校は固より、諸官衙銀行會社、團體等、必ず一本を備ふべく、教養ある者、資力ある家、亦須く一部を藏すべき不朽の典籍なりとす。
全八卷　菊判天金布裝函入
發賣元　東京神田　富山房　振替一〇五　內容見本進呈　往復葉書申込次第



宮內省御用品　本品の品質は既に社會に定評あり種々の名稱を附したる類似品多し本品の軸部にはSWANの英字刻印擦捺せり
スワン萬年ペン
到る所の文具店に在り　目下販賣中　最寄販賣店に御用命　目錄無代進呈　大阪東區平野町二丁目　スワン大阪出張所

獨逸東漸と極東

▲過激派對哥薩克 海蘭包戰鬪の詳報

邦人虐殺―我國旗凌辱

過激派と哥薩克並に各國自衛團との間に開かれたるブラゴエチエンスクの戰鬪はハバロフスクより過激派約千名の應援ありし爲め十二日の戰況猛烈を極め哥薩克の大部は逐次上ブラゴエチエンスクに退きつゝあり市民の黒河に避難するもの極めて多く又首領以下司令部の逐次黒河に退却せる爲め戰鬪は部分的となり日本人の被害今迄判明せるもの死者一名負傷者四名殘れる日本人百五十名內外も概ね虐殺され家屋財產を掠奪されたるやの疑ひあり、彼等は日本人に對し絶對に入市を禁止し日本人と見れば直に斬殺を企てたり、久原事務所に掲げし國旗は凌辱せられ事務所は破壞占領されたり本願寺又破壞さる、該戰鬪にて哥薩克は死力を盡して勇戰し共兵力增援後の過激派と軒輊無かりしに斯く敗戰せるは獨逸俘虜三千餘過激派に應援せるに非ざる乎との疑あり（哈爾賓特電）

▲高柳少將以下 邦人團哈爾賓著 別報

有ゆる危險と極度の食料缺乏に堪へ能く最後迄踏み止り居たりし露都在留日本人其の他の最終引揚げの一行は既報の如く途中十九日間の長旅行を經て十四日午後九時哈爾賓に歸著せり高柳少將以下六名の武官平塚大使館員其他三十名の日本人は米國人支那人等と特別列車に搭乘し途中屢々不穩なる風說に驚き三月五日頃一時立往生をなせる箇所さへありしが日本人のみは二臺の客車に分乘し露都を最後に發したる急行列車にウオログダより連結しイルクツク迄に辿り著くや又復滿洲里附近にて過激派隊とセミヨノフ軍の交戰せるに會し平塚大使館員及び時乘少佐は過激派軍を說き交通杜絶し居りし箇所を突破し十九日目に哈爾賓に入り一行は故鄕に歸れる如き心地せりとて安堵の吐息を洩らせり大部は一先づ哈爾賓に下車せるもの十名許りは直ちに浦鹽に向へり一行がチタ、滿洲里に著くや在留邦人は酒肴を贈り彼等を慰めたり（哈爾賓特電）

◎厦門に土匪橫行

三月初より厦門に數千名の土匪橫行し行動規律ありて漸次猖獗を極めつゝあり住民は續々他へ避難しつゝあり（廣東特電）

◎關東州 米麥輸出禁止 朝鮮へ無制限輸入條件とし

關東都督府は十六日附府令第十三號を以て左の通り定む

戰時中關東州及び南滿洲鐵道附屬地より米及び大麥の輸出を禁止す但し所轄官署の許可を得たるものは此限りにあらず

本令は公布の日より之を施行す（大連特電）

◎內田大使 イルクツク著

內田大使は十三日午後四時イルクツクに安著せるが哈爾賓著は十八九日頃なるべし（東京特電）

◎唐紹儀 來朝

唐紹儀氏は夫人同伴十六日午前日本郵船八幡丸にて門司入港神戸に向ひたるが元氣頗る旺盛なり氏の談話に據れば『今回の來朝は全く私事に關し政治上には何等關係無し自分は四十六年前來朝したるを初めとし今回は第五回目なり滯在は約二ケ月位の豫定なるも今回は充分の視察を爲す積りなり日本の發展には實に驚嘆の外なし』と因に大道九管局長は本船迄出迎へたり（神戸特電）

◎松方侯參內

上原參謀總長は十五日午後二時單身鎌倉に松方侯を訪問し長時間密議したるが松方侯は十六日午前九時御召に依り葉山御用邸に伺候し時間に就き種々御下問に奉答終つて午餐を拜受して退出せり（東京特電）

大阪だより

▲毛織物界昨今 昨今[illegible]にては賣惜みの模樣あるのみならず米麥等の暴騰せる關係上地方一般が意外の景氣なるため毛織物の[illegible]つて品拂底の現況にあるが故に四五月以後とならば一段の高値を示すに至るべく豫想せられつゝあるが[illegible]に止る僅少量に過ぎざれば從つて勢ひ內地市場の在荷は常に手薄を[illegible]旺盛を極めつゝあれば內外共に漸次[illegible]佰利亞を經て獨逸に入貨せしもの[illegible]往々ありし證跡明かなりし由にて遂に國硬なる禁輸說の唱へ出さ[illegible]確定せる事と南洋糖（瓜哇糖）船腹[illegible]三割强減少の事實略[illegible]

▲石油界の趨勢 石油界は過般の雪害の爲め產地に停滯し居[illegible]なすたる一方支那輸出期に向へる爲め產地側は先高を見越して賣[illegible]

◎妙心寺提唱 臨濟宗妙心寺派別院にては十七日午前十時より碧巖大燈國師遺誡の提唱あり[illegible]

第四十回帝國議會（東京特電）

◎梁士詒歸國

來朝中の梁士詒氏は十四日上海に向け出發歸國せり（東京電報）

◎眞野總長出張

九州帝國大學總長工學博士眞野文二氏は十六日附を以て朝鮮及び關東州へ出張を命せられたり

◎通信職員增額

關東都督府通信官署職員及び郵便業務人通信職工工夫旅費增額規定十六日訓令を以て發表され四月一日より施行のことゝなりたり（大連特電）

◎上林忠南長官

上林忠南道長官來全十七日歸途に就く筈（全州電報）

◎李氏建碑式

嘗て道長官として令名ありし李斗璜氏の建碑式あり盛況を呈せり（全州特電）

衆議院（十六日）

▲本會議

十六日午後一時二十分開議諸般の報告ありたる後日程に入り

市町村立小學校教員退隱料及び遺族扶助料法中改正法律案 岡田文相提案理由を說明し九名の委員附託

監獄法中改正法律案 委員長淸崟太郎氏（政友）委員會の經過を述べ希望條件を附し原案を可決せりと述べ可決確定

臺灣銀行法中改正法律案 委員長中村啓次郎氏（政友）委員會の經過を述べ可決確定

自動車事故の責任に關する法律案 高木益太郎氏（國民）提案理由を說明し九名の委員附託

山田琴比羅間鐵道建設に關する建議案 白石直治氏（政友）提案理由を說明し九名の委員附託

衛生行政の中樞機關擴大に關する建議案 杉英五郎氏（新政）提案理由を述べ九名の委員附託

福井縣三國港築港に關する建議案 熊谷五右衛門氏（政友）提案理由を說明し九名の委員附託

信越線碓氷鐵道改良に關する建議案 小田切磐太郎氏（政友）提案理由を說明し九名の委員附託

水產敎育振興に關する建議案 奥田總造氏（政友）提案理由を說明し九名の委員附託

津山上那間鐵道建設に關する建議案

津山知頭間鐵道建設に關する建議案

右二案一括委員長奥田總造氏委員會の經過を報告し可決

平町小名濱間鐵道建設に關する建議案 委員長高岡唯一郎氏（政友）委員會の經過を報告可決

物價調節に關する建議案 國民黨、憲政會、政友會の三案を一括し委員長田中隆三氏委員會は之を合一して一の成案を得たりと委員會の經過を報告す

▲朝鮮銀行法改正案委員會（十五日）

十五日貴族院臺灣銀行法中改正法律案外二件委員會に於て朝鮮銀行法中改正法律案に關する主なる問答左の如し

▽勝田藏相 朝鮮銀行は事業發展するに連れ帝國の中心に根據を置く必要あり又對外活動の上よりも滿蒙北支那方面に放資す可き必要あり現に先頃滿洲にて朝鮮銀行は約數十萬圓を融通せる事實あり且つ內地の事情に觀るも人口增加し產業發達し貿易進展し金融機關の擴張の必要益々其度を加へつゝある際なるを以て放資の關係上保證準備發行額を五千萬圓とし副總裁を置かんとするが本案の趣旨なり

▽牧山耕藏氏（政友） 臺灣銀行が一方に活動せるに對し更に朝鮮銀行をも此方面に手を擴げしむるは政策上不得策ならずや

▽勝田藏相 銀行の活動範圍を地域を以て限定するは不可能に屬す可く又支那の政治借款に對しては原則として五國借款團が是れに對應する事となり居り我國の資金に就ては主として正金銀行是に當るを常とせるを以て假令朝鮮銀行が支那借款に放資する場合ありとするもそは直接政治借款に干與せざるものと云ふを得ざるなり

▽牧山耕藏氏 信託事業擴張する意味如何

▽鈴木度支部長官 朝鮮銀行の信託事業を擴張するの必要あるは最近朝鮮に各種の事業會社勃興し社債券の部合增加せるを以て是れが引受機關を要するは國家の急務なりと認む由りて朝鮮銀行を中心としたる信託機關を設置し度き意嚮を有するものなり

▽棚瀨軍之佑氏（憲政） 然らば本案通過の上は直に社債券の信託預金等に關する規定を發布する可き考なりや

▽鈴木度支部長官 本案通過の上は勅令若くは制令を以て公布する考なり

▽牧山耕藏氏 內地の特殊銀行は勿論臺灣銀行東洋拓殖會社皆共に大藏大臣の監督に屬するに不拘獨り朝鮮銀行のみ藏相の監督下に置かざるは特殊銀行間に不統一を惹起する憂無き乎

▽勝田藏相 均しく植民地と雖も朝鮮と臺灣とは同一に論ずる能はず從て朝鮮の民度に適する樣朝鮮總督府當局にて自由に手腕を振ひ得せしむる爲め特に大藏大臣の監督下に置くを避けたるを以て過去の實績に徵するも總督の監督下にて充分の成績を擧げ居るなれば東拓が藏相の監督下に在るの故を以て朝鮮銀行をも其如くす可しとの理屈を固執さるゝは當らずと信ず又朝鮮、滿蒙方面にては不動產に對する放資は東拓之れに膺り動產に對する放資は朝鮮銀行主として是れに當るの方針は現在其通りなり近く公布の意志ある信託法の調査は略ぼ完成し居るも今期議會は最早餘日無きを以て來議會に提出す可し、朝鮮に朝鮮銀行の少額紙幣が融通し居るは一時的處置として是れを發行せるものにして中央政府の小額紙幣の融通するに連れ引揚げつゝあり從て貨幣統一の方針は毫も變更せられたる譯に非ず。

▲豫算第四分科會（十五日）

＝十六日朝刊豫算分科會に續く＝ 陸軍省所管

十五日午後開會の衆議院豫算第四分科會に於ける重要なる質問應答左の如し

▽高木正年氏（憲政） 臨時軍事費追加要求の內容如何

▽大島陸相 臨時軍事費追加要求千九百萬圓の性質は一般の軍需充實擴張等の費用に非ずして今日の時局を主とせるものにして日本に無き各種原料を準備する費用なり平時も年々一年分のものは準備し居れるも是等は戰時に於ては數箇月位に當るを以て時局に鑑み本國より是れを輸入して準備を爲す爲め是れを計上せり、右の外十萬圓は瑞典に新に公使館附陸軍武官を設置する經費なり

▽高木正年氏 是れ丈の材料にて凡そ何程の軍隊が行動し得るや

▽大島陸相 我全軍隊が凡そ一箇年位行動し得る算定なりと答へ

▽高木正年氏より更に浦鹽の軍艦派遣並に西伯利亞出兵に就ての質問に對し

▽大島陸相 帝國の存在の爲め又聯合與國の一員として已むを得ざる場合に到らざる限り何共言明する能はず軍艦派遣と陸軍の出兵とは其の性質に著しき差あり西伯利亞の現狀は出兵の必要無しと認む隨つて現在にては出兵し居らずと答ふの外無し

▽匹田鋭吉氏（政友） 我軍隊の一箇師團を哈爾賓其他に出動せしむるには一箇月凡何程の費用を要するや

▽大島陸相 一箇師團が滿洲方面に出動する費用は一噸五十五圓に當り又一箇師團の戰時經費は最初の月が七百萬圓次の月より四百萬圓を要す

▽高木正年氏 浦鹽派遣艦隊の經費額如何

▽志佐經理局長 浦鹽派遣艦隊の大正七年四月以降の經費月額は現狀にては四十九萬餘圓なり又地中海派遣艦隊費は大正七年度總豫算に計上せる月額に等し

◎爲替貯金概況

爲替貯金局の調査に係る二月中に於ける郵便貯金、證券其他の事業概況を見るに郵便貯金は月末現在人員に於て一千七百三十萬七千五百七十人同金額に於て四億三千百五十九萬六千五百十一圓、證券同月中額面金額は交附三千四萬九千六百四十五圓買却九萬六千八十圓償還十九萬五千六百五十五圓にして月末現在人員に於て五十七萬九千九百五十八人此の枚數三百二十六萬三百一枚額面金額六千百八十八萬八千五百六十五圓を算せり而して郵便振替貯金に在りては月末現在人員十萬一千八百二十九人額二千十四萬三千八百二十八圓なり郵便貯金は前月に比し現在人員に於て二十二萬九百三十七人を又現在預金額に於て七百九萬六千二百五十三圓を增加し證券は前月に比し現在枚數に於て一萬九千二百十一枚額面金額に於て二十四萬三千五百二十五圓を增加し振替貯金は現在加入者に於て千三百三十九人を增加したるも預金現在高に於て四十一萬千三百十三圓を又受拂金額に於て二千八百八十四萬二千三十圓の減少を示せりと

◎露貨換算率變更

東淸鐵道にては本月十六日以降日滿聯絡貨客運賃に適用すべき日露貨幣換算率を邦貨百圓に付露貨五百五十留とする旨滿鐵京城管理局に通知ありたり

◎營業倉庫事務開始

京元線高原驛に於て倉庫營業事務を開始したるが當分の內野積荷託の外取扱はざる由

◎谷水產課長出張

總督府水產課長谷多喜磨氏は釜山に於て開催さるべき水產組合總會に列席並に密陽養魚場視察の爲め往復五日間の豫定にて十七日より出張の筈

百鬼百趣

某露國通曰く トロツキーを失ふたレニンは既に沒落の淵に臨んだもので國民の信望は益々彼等から遠かるのみである▲元來過激派の頭領株は口では立派な理想論を唱へて居るけれど事實は卑むべき獨逸の走狗である事は最早世界周知の事である▲騷動の始から露國の眞面目な將校で彼等の手にかゝつて死したものは既に一萬一千人を算する▲而して元來露國民は欺かれ易き國民である▲からトロツキーが辭職しレニン政府が瓦解しても▲社會主義の新政府が現はれても當分の臨政局には大した變化もあるまいと▲トロツキーと云へば今度同人の後を襲つたチツチエリンと云ふ飛行船の名に似た外相は▲貴族の生れでまだ三十歲そこ〳〵の少壯であつて極端な社會革命主義者である▲で今迄露國政府からは非常に壓迫せられて瑞西や英國を逃げ廻つて居たが▲ケレンスキー內閣が倒れて過激派の天下となると英國から本國に歸らんとした▲處が其の思想が餘り過激であるから英國政府は嚴重に拘留をした▲すると當時の外相トロツキーは眞ツ赤になつて若しチツチエリンを放免せねば在露英人全部を拘留するぞと英國に强硬談判を持ちかけ▲お蔭で漸くチツチエリンは歸る事が出來トロツキーの引立で外務次官になつて居たが今度は本物の大臣になつた▲斯ふ云ふ人だから過激派の外交はまだ〳〵何う云ふ事を仕出かすかも知れぬテ

飛行少年 四月號
◇化物の正體 井上文學博士 ◇露兵を虜にす……由比中將 ◇鞍馬を逃れて 黑板文學博士 ◇孤島より……武藤運轉士
四月號 海上の黑魔 呪の爆彈 怪宮の秘密 我家を後に 聖堂の夜雨
特別懸賞大募集 見よ
定價十五錢 郵稅一錢 振東京三六三二〇 日本飛行研究會

會長文學博士澤柳政太郎先生
教員養成 師範講義錄
內容大改正 通信教授にて小學校教員檢定受驗の實力を養成す
四月新學期 此際入會大特典
見本つき會則無代にて進呈
東京市牛込區內 日本師範學會

幼年畫報 四月號
特別附錄 子供芝居 大好評七幕も踊る 小波お伽桃の踊り □岡の花見□嫁入道の踊り □乳母爭ひ□眞綿だま
美しく愉快な繪、お子供方唯一の侶伴 やさしく面白い讀み物
定價各十三錢郵稅二錢 東京本町 博文館

幼年世界
小波お伽 道草餅 □金太郎の卷 □柏陽の化石 □丹火事 □野原の草花

大町桂月先生監輯
修養日訓
四六版三百八十餘頁 總布製箱入美本 定價壹圓貳拾錢 送料拾貳錢 六版
桂月先生の序に曰く（前略）謹んで世の修養に志ある人々に告ぐ、一時に修養上の知識を貪らむとする勿れ、日々少しづゝ自得して實行せよ更に他書を繙く人々に告ぐ、日々其日の條のみを讀め而も、熟讀せよ解らぬなら解る迄熟考せよ、昨日以前讀み終りたる所を回顧するも好し、決して翌日以後の條を見るべからず、如何に多忙なりとも其日の條を讀まざるべからず、かくて一日又一日、一月又一月一年の後に至りて一年前と比較して見よ必ずや諸君は吳下の舊阿蒙にあらざらむ
發賣元 京城太平通一丁目 振替京城三〇〇番 京城日報社代理部

內科 小兒科 京城府明治町二丁目（本町江戸川橫より入る）電話三七八番
入院隨意（普通病室 隔離病室）
中島醫院 院主 中島貞信

大正七年（申）第四七八號
公示催告
京城府南米倉町二十三番地 乾物卸商 申立人 辻本嘉三郎
一、荷物受取證 運送品經營者 但番號一〇六號、運送品ノ容積二十七才六荷造ノ種類及個數タル六個價格金百圓陸揚地京城府南米倉町二十三番地受人京城府四阪府梶仲通參丁目鈴木久造扱人合資會社商船組大正六年十一月六日作成發大阪商船株式會社大阪支店石崎濱二最終ノ所持人辻本嘉三郎
右證券ニ付前記申立人ヨリ公示催告ノ申立ヲ爲シタルニヨリ其ノ所持人ハ大正七年九月三十日午前九時ノ公示催告期日迄ニ當院ニ權利ヲ届出テ且右證券ヲ提出スヘシ若シ右期日迄ニ届出及提出ヲ爲サザルニ於テハ其ノ無効ヲ宣言スルコトアルヘシ
大正七年三月十三日
京城地方法院

公告 京城學校組合
一京城學校組合會議場屋根葺替其他修繕工事
右來三月十九日午前十一時入札ス

新築移轉
移轉地 大阪市東區安土町一丁目廿二番地
電話本局長 五五〇番 七八〇番
綿布商直輸出入業 和田爲次郎商店

朝顏と花
目錄無代進呈 尾張國稻澤町 愛知農園 種苗一切 美麗

最新刊

書名	著者	定價
最新實用的强健法	伊藤銀月	九〇
理想の子守法	田邊北溟	一、〇〇
住宅家相之話 上	熊野壯一郎	一、三〇
茶話	讀賣新聞社	四〇
日蓮宗派逸話集	禪學研究會	一、二〇
莊子私纂並	和哉 土屋弘	一、一〇
神秘靈魂 口よせの術	双龍軒先生	一、二〇
文字の敎へ方	後藤朝太郎	一、五〇
一九一七年 現代の八大强國	長田新譯	一、〇〇
支那の眞相	大河平隆光	一、七〇
甦れるまで	佐久少佐	一、二〇
小生の手紙	大町桂月	一、三〇
小說の作り方	生田秋聲	五五
株式市場必勝奇策	屋月農人	二、〇〇
高等諸學校受驗及第秘訣	學驗研究會	六五
誰にもできる 苦荷池及充電模製作法 附取扱法		一、三五
兒童の文話力に於ける綴方指導の實際	氏家丑次郎	一、五〇
小生の手紙	大町桂月	一、三〇
日蓮宗派逸話集	禪學研究會	一、二〇

大阪屋號 京城本町一丁目 電話六八四・二〇八六・振京城二五七三

にありでは原料の暴騰と伴ひ產費の增加に迫られ從つて市況の稍々軟弱を示せるにも拘はらず安値

一ヤール五圓乃至五圓五十錢見當を唱へおれるが生產額は昨秋來原料輸入困難のため著しく減少し從

國品のみの輸入を俟の有樣なるも是れ迄軍需品の製造に忙殺さるゝ結果輸出額は全生產高の約二割弱

騰貴を呈し卽ち最上メルトン一ヤール十四五圓外套用純駱駝一ヤール三十圓見當を唱へ居り當用相場

日大阪商船會社著情報によれば過般問題の濠洲禁輸眞相は從來同國より日本へ輸出せし貨物中西

實なる證明を要すと

◎砂糖界は小康

本年蒸糖……入りて閑散にて分蜜糖先物十九圓三四十錢見當、當月十九圓二三十錢現物十九圓掴みの相場を示せり

……に拘らず市場は在荷……のため下落にありたるが昨今在荷の消化されたると原山不足に氣配強調と

……が愈々需要期に入ると共に船腹不足のため外油の輸入不足なると相俟つて活況を呈すべし

九州視察團寫眞帖(二)

別府海地獄

九州視察團の快擧(二)

◆時は陽春四月＝花賞併有

◆日鮮縉紳諸彦の贊加を俟つ

＝視察團行程＝

先づ以て九州視察團二週の廻遊行程を、逐次御披露致す事に仕ませう。時は陽春四月半ばの十五日午前八時四十分九州視察の一團は西鮮團を合せて南大門驛發。大田にて湖南團、釜山にて南鮮團を收容茲に全團編成、高麗か新羅か三千五百噸級の大型連絡船は、特別の施設を加へ一行を待ち受け、湖の如き春の海を乘り切りて、翌十六日六連の曉景に憧れつゝ午前七時三十分には早くも赤間ケ關の人となる。關門視察は歸路に殘して直ちに門司に押渡り待ち受けの貸切電車にて午前八時卅分門司發大里に向ふ。海岸に沿うて西へ指せば車窓の左右に煤炭の累々、汽車運び來り汽船運び去り絡々盡きず、人をして直ちに九州の富を思はしむ。電車運轉十數分、下車して大里の海濱白砂青松の間に櫻ビールの釀造工場を視察し、同會社の接待を受け、四邊の風光を賞す。大里の海濱白砂青松長く連なり眺望頗る佳企救の高濱と云ふ。濱を後にすれば玄海灘の怒濤澎湃として六連、馬島、藍島、白洲の諸島は眼界に入り來るのである。更に大里發午前十一時四十五分發列車にて同十二時十四

分枝光著、壯觀無比の大鐵工場八幡製鐵所を見學して午後二時五十九分八幡發列車にて午後五時福岡に入る。

＝福博視察＝

十七日團員は各指定旅館より正九時迄に九州沖繩物產共進會場に集合、協贊會員の案內說明にて會場を巡覽し正午より協贊會招待の午餐會に出席午後福岡縣物產陳列場、松尾博多織工場、井上博多人形製造所等を巡覽す。夜間は三三有志の招待にて九州一の九州劇場を觀る。十八日は午前八時に各旅館出發、腕車にて大學前に集合、直ちに九州大學醫科大學を巡覽、終つて徒歩にて日本三大公園の一東公園の勝景を賞す公園は所謂千代の松原なり、琴聲空に絕わず松翳地に敷き、園內に元寇記念館あり、龜山上皇及び日蓮上人の銅像あり、崇福寺あり、寺は臨濟宗の巨刹黑田氏累代の墳墓がある。行く〳〵其他の史蹟を探り、築港を遠望し此間唯一の元寇學者木下讃太郎氏、川上工學博士の詳細なる說明を傾聽し、箱崎大社に詣づ、社は官幣大社にして應神天皇の胞衣を埋め賜ひし所、廟前の籬松は卽ち共齋蹟である。廟の四邊大樹森然として、苔滑かにして塵飛ばず、海に向へる一扁額は『敵國降伏』の文字あり、之れぞ醍醐天皇の御宸筆を傳へて居る。遊覽終りて午前十一時半福博電車にて殷盛なる福博大市街を眺望しつゝ東端より西端に走り西公園に直行、千樹の櫻花爛漫と開く公園に於て午餐の饗を受ける。同公園は博多灣の景勝悉く眸中に入り、筑紫富士の眺め畫幅の樣なる絕勝の所である。休養終りて午後三時より直下に開催中の化學工業博覽會を視察し午後五時貸切電車にて東中洲下車歸宿

◎墨西哥丸故障

門司港內にて

十四日午後四時四十分門司港內に於て米國航路大阪商船會社汽船墨西哥丸は神戶に向け出帆の際潮流の爲め押流され第四號浮標と接觸し忽ち船體のリベットに故障を生じ爲め海水浸入せしも航海には差支なし其際艀船一艘沈沒せり（門司特電）

◎培材學堂卒業式

卒業生卅八名

私立培材學堂第十回並に同培材高等普通學校第二回卒業式は十六日午後一時半より貞洞同校講堂に於て舉行されたり式は『君が代』の合唱に始まり勅語奉讀、勅語奉答『あな尊しや』に續いて校長申興雨氏式辭並に◆學校の沿革に就き報告する處あり卒業生三十八名に卒業證書を授與し宇佐美長官來賓を代表して祝辭を述べ併せて卒業生の爲めに懇切なる訓諭を與へ培材學堂卒業生總代西濟順君は鮮語にて同高等普通學校卒業生高膺儆君は◆國語にて各答辭を述べ式を終れり尚當日の來賓は宇佐美內務部長官、渡邊高等法院長、米國領事、魚潭氏其他內外官紳教師關等多數なりき

京龍情死史（七）

梅ヶ枝榮吉

奬忠壇の木枯しに物の哀を留めて

秀才の末路＝美人の薄命

師走に入つてから急に寒さが甚くなつて毎日〳〵痛いやうな風が京城の街を吹き暴る。今日は十六日大晦日の近い事とて市中は歳暮の出しの準備に◆猫の手も借りたいやうな忙しさ、浮世の中は火の車、風の車がくるくるくる、苦しみ拔いて年の瀨を越せない人達が血眼になつての東奔西走、その忙しさを外にして若い男と女が手を取り合つて元祿湯支店の裏口から奬忠壇へトボ〳〵と歩いて行く、男は浴衣の上に銘仙の褞袍を著女の赤い腰卷を締めて霜降メルトンのマントに身を包み、女は◆銀杏返しに緋のお召と言ふ裝ひ、朝の散步にしては時節が惡い、晴著の散步も怪訝だ、それに二人共此世の人でないやうに蒼ざめて步く足さへ力がない、北漢山颪が強く吹いて二人は吹き飛ばされさうであつた『死ぬる最後まで此の苦みを受けやうとは宜く〳〵浮世に見放された』女は空を見上げた。◆恨めしさうに空を見上げたが袂の中の細長い紙に手が觸れるとわーつと許りに聲を上げて慟いた、頽れかゝつた城壁の下を辿つて進すら淋しい松林の中に入ると其處からは火葬場の赤い煉瓦の煙突が見わた、紫の煙が風と一しよに訪づれて來る、男は女の手を取つて泣いた、少時すると女の袂から紙が取出された二人は『梅ヶ枝』『榮吉さん』と◆抱き合つて又歔欷り上げた。

◆風は幾分收まつて鬱蒼した松林の中は薄氣味惡い靜寂さとなつた午刻の程から松葉掻きに餘念の無かつた朝鮮人がフト見ると封も切らない四通の封書と櫛が落ちて居た不審に思ひながら四邊を見廻すと無慙や美しい女が髮は木の根にしい血を吐いて倒れてゐた、松葉掻きの急報に依つて本町署から警官が出張して取調べると男の遺書は二通あるが男の姿は見わない◆攪亂され口からは生々死にきれて身を匿したか、わざと死場所を違へたか疑惑の雲はかゝつたが捜索の結果女の死場所から四丁許りも離れた奬忠壇の城壁外に男の死體が橫はつて居た、全身赤く爛れて◆苦悶の樣は高い坂から轉び落ち手や足に數多の擦過傷を負うて居たのでも窺はれる人々は酸鼻しさに顏を外向けた

宇垣將軍を迎ふ

車中に市川參謀長＝對手が獨逸だ

西伯利亞は何なる＝株屋の仕事だ

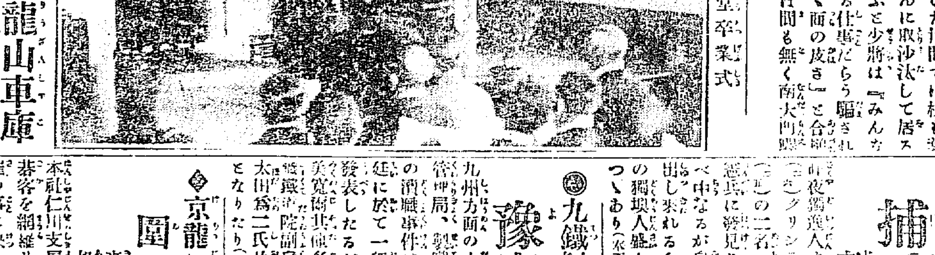
參謀本部附宇垣少將は十五日午後九時南大門驛通過奉天に向つた車中に訪へば背廣姿の少將は湖南地方視察の途より歸任する市川參謀長と何事をか愉快さうに語つて居たが記者が名刺を差出すと『オヤ〳〵もう知れてゐたのか！』と記者の顏をじろ〳〵瞰す『西伯利も面白くなつて來ましたね』と出ると『ウム何やら騷がしくなつて來たやうだね、時に京城日報にブラゴエチェンスクで邦人百五十名

▽虐殺された と言ふ電報が見わたが彼れは眞實かね實際とすれば犧牲者に對しては同情に堪へぬ、然し其の靈魂は何等かの方法に依つて慰められるであらう』と意味ありげに言ふ『獨逸が潜航艇を浦鹽に送るだらうと言ふ噂があるが』と持ちかけると『そりや出來ない事はないさ

▽現に地中海 で暴れて居る潜航艇は皆陸送された者だ、對手が獨逸だから何んな事を遣り出すかも知れ無い殊にイルクツクでは獨逸俘虜軍隊が日本軍に衛る可く二箇軍團を編成して居るさうではないか、どうせ露國には規律だつた軍隊が無いから此等獨逸兵が中心となつて働くだらうさうなると農產鑛產物の豐富な西伯利は獨逸の

▽勢力範圍に なつて了ふ、日本が指を咥へて敵の跳梁を恣にさせて居つたならば什麽結果になるだらう』と眼を光らせて煙草の煙を吹く『其處で日本の出兵の時期は』と突込んで行くと『そりや參謀本部で聞くさ』と呵々と笑ひ、傍から市川參謀長が『先日鎭南浦から十九師團に

▽動員令が下 つたと內地に電報を打つた者があるが打電しても宜いかと郵便局から尋ねて



培材學堂卒業式

◎京電龍山車庫の火災

損害約一萬圓

龍山漢江通り京城電氣會社車庫一部より十五日午後八時廿五分失火し二十分の後鎭火したるが一時は一かなの騷ぎにて新舊龍山及び南大門消防隊、第七十九聯隊より將校下各七十五名出動し消火に努めたるを以て大事に至らず試驗室一棟の消失にて延燒を喰ひ止めたり原因は目下取調べ中なるが損害は約一萬圓見込なりと

◎脫走した 捕虜獨人

奉天で捕はる

昨夜獨逸人オクステ、サイツケスク、クリシテヤム、ステニホルスの二名は春より來奉せるを憲兵に發見され領事警務署に於て取調べ中なるが自ら露國の捕虜にて脫出し來れるを自白したり目下之等の獨墺人盛んに來往し危險を加へつゝあり（奉天特電）

◎九鐵疑獄事件

豫審終結

九州方面の大疑獄たる鐵道院九州管理局、製鐵所員、福岡鑛務署員の瀆職事件は福岡地方裁判所豫審廷に於て一部の豫審終結し十六日發表したるが休職鐵道院參事宇佐美寛爾其他多數公判に附せられ休職鐵道院副參事門司運輸事務所長太田爲三氏及び外數名は豫審免訴となりたり（福岡特電）

◎京龍仁合同 圍碁大會

來る三月廿四日仁川旭旅館にて開催

本社仁川支局主催の下に京龍仁の碁客を網羅せる一大圍碁大會を催すの事に決し來る三月廿四日（日曜日）午前十時より會場を仁川旭屋旅館と決定し諸般の準備を爲しつゝあり當日◆京城よりは山三段を初め紀本氏其他多數の出席あるべく龍山の上月氏亦必ず下仁の事に決し居れば當日は豫想以上の盛況を見るべし之に對して仁川よりの出席者亦數十名に上るべく會員の數は百名の多きに達すべき豫定なり殊に當日の異觀とも云ふべきは◆本因坊家三段の對局にして京城山三段と仁川原三段との手合せは恐らく京仁にては勿論朝鮮に於て未だ曾て見ざる空前の事なるべく尚兩氏共本因坊家の門下にして斯界における嘖々の名聲を擅にせるの人達なれば絕後の壯觀を見るなるべし因に當日來會者は會費金二圓を要し晝飯及び夕餐料理の準備を爲せり◆賞品は一等より十等とし五人拔を以て優勝者となすべく優勝者の決戰は時間の都合に依りては或ひは抽籤を以て定むる事あるべし昨今之が發表と共に各商店及び各方面より賞品寄贈を申込まるもの多く幾多の副賞品は積むで山を爲すの盛況にあり其他京龍よりの來會者にして萬一宿泊希望の向に對しては旅館の割引を爲す等其他諸般の準備に就ては萬遺憾なきを期しつゝあり

看護婦募集

資格ある看護婦數名募集す希望者は本人直接來院ありたし

朝鮮總督府醫院

◎春季釋奠祭

二十一日執行

春季釋奠祭は來る二十一日午前九時より東小門內經學院に於て執行せらるゝ筈なるが大提學子爵金允植氏老年の爲め副提學子爵李容稙氏代つて初獻官の節次を執行すべく長谷川總督以下各部長官、朝鮮貴族各道講士、儒林、學生等多數參列例年の如く古式に依り嚴修せらるべしと尙ほ副提學李容稙氏は同日午前十時三十分より明倫堂に於て論語の『君子無終食之間違仁造次必於是顛沛必於是』に就て經學院長平田德太郎氏は朝鮮氣象に就て講演を爲すべし

◎給仕募集

高等小學校卒業又は同等程度の素養あり身體壯健にして希望者は本人履歷書持參あれ

京城日報社

謹謝近火御見舞

龍山漢江通十一番地

山本幸次郎

謹謝近火御見舞

大橋組

宮地吉太郎

龍山漢江通十一番地 電話一〇八番

昨夜失火の際は早速御見舞被下以御陰大事に至らず鎭火仕候混雜中御尊名相洩候やも難計乍略儀以紙上御禮申上候也

大正七年三月十七日

京城電氣株式會社 京城支店

謹謝近火御見舞

龍山漢江通十一番地（柳湯隣）

博愛醫院

謹謝近火御見舞

龍山漢江通十一番地

朝鮮繭絲商行

電話長一五七番

株式名義書換停止公告

來ル四月一日ヨリ定時株主總會終了當日迄當會社株式名義書換ヲ停止ス

右定款第十八條ニ據リ及公告候也

大正七年三月

朝鮮郵船株式會社

特殊大寫眞 史劇 加藤清正一代記

教訓史劇（ダレモナキマス） 天下一品 乃木將軍 信州墓參の卷

暖き本日の日曜日はお小供樣御連遊ばして當館へ

正十二時開館

黃金館

貴紳士用實用懷中時計 大安賣

◎十八金側片硝子 參拾參圓より

◎銀側懷中時計 貳百圓まで

其他貴金屬裝身具一式有之候地方御注文は代金引替小包郵便にて御送附申上候間奉つて御用命願上候

京城本町貳丁目

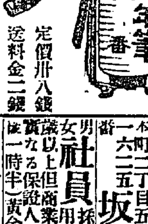
村木時計舖

電話四七壹 振替京城三一九〇

ステッキもあります

今回朝鮮總督府の御買上を蒙りたる

自轉車用 提灯挿



定價卅八錢 送料金二錢

取締規則に適應し提灯携帶を容易ならしむべく新案特許を得たる圖の如く體形優美の金屬製なり

京城太平町

發賣元 京日代理部（電話三六〇番）

振替京城三〇〇番

▲市內は電話にて申込次第御屆可仕候

▲六十八回 壹萬圓 新券 ▼

◎四月抽籤

小尾兩替店

岡本齒科醫院

京城 本町一丁目

◎營業品

一、日本杉足場丸太 三間以上六間以下各種現在品多數有之候

各沿線に於て御入用の方は釜山弊店置場より何時にても發送可仕候

一、杉皮 輕便屋根葺材料 土屋葺用として至極便利徳用に御座候數萬坪在庫

一、車輪用材 樫枝樺輪形ロクロ各種品あり

一、鮮松丸太並に建築材料一式

京城岡崎町

㊄三幸洋行

電話長二八〇〇番 振替京城三一九五番

西村眞太郎著

會話精通

定價一圓三十錢

京城日報社代理部

京日案內

京日案內 普通 番外

▲店員入用 十五才以上十八才迄

本町一丁目 蠟山東洋館 電話二六九八番 527

電話讓渡たし本社構內十六番へ 583

◎見習看護婦至急入用 希望者は來談あれ 京城明治町 久技肛門病院 521

◎醫師代診生至急募集 希望者は履歷書並に寫眞送附ありたし 平壤 石川病院 516

◎讓店拾年の菓子老舖急賣ル事情ありて讓渡す 場所は平壤本町 希望者は京城日報平壤支局 499

◎貸家 水標橋南川端通越坪約七十坪事務所及住宅好適庭有水道付 家賃廿五圓 電九八九 大島 474

古服高價買入御報參上 黃金町二丁目 電取次二二三〇 木村洋服店 482

首藤直政に告ぐ 徵兵檢查期日切迫至急住所しらせ 別府 阪田 530

礦物定量分析 坂元分析所 朝鮮公論社左橫小路 本町二丁目二三四 電長一三四〇 492

恩給年金長期公債低利立替 一切無引 ▲提保貸附 京城若草町百六 電話三〇壹番 西村商會 448

礦物定量分析 坂元分析所 本町二丁目五三京城銀行橫入 電話一六三五番 出張 491

社員採用 男子二名年齡廿五歲以上但商業に經驗又志望有者 女子三名 確實なる保證人要二名 面談は午後一時半 黃金町二ミシン會社 505

產婆開業（元濱崎助手） 京城櫻井町二丁目三二〇 電話一五〇五 遠山ミチヨ 509

社員招聘 社業擴張に付高給社員數名招聘す 希望者履歷書携帶本人來社あれ 京城黃金町貳丁目九六 日清生命保險會社朝鮮支社 531

小使入用 年齡四十歲以上の夫婦者社內住込 希望者來社但市內に保證人を要す 京城黃金町貳丁目九六 日清生命保險會社朝鮮支社 532

櫻御殿

大阪霞の家主人

第百七十六回

座敷牢（十四）

濟之丞もしこゝで一言を過まらば、備後守の前へ出るまでない、利右衞門の刄の尖頭に一命を果すであらうと見れた

甚内角内は主の大事と見るより早く刀の柄に手を掛ける、與惣治も追取り刀で飛んで出る、濟之丞は強い目で睨み付ける

されど利右衞門は、そんな事に驚くほど不用意な男でなかつた、また三五人の敵を見て、逡巡する武士でもなかつた

『武士に向つて、犬畜生とは何んちや、その主意を聞かぬ中は、一寸も動かさない』

云つて片手を柄に掛ける、面上に殺氣が流れて、それが眉根に暗を作る

『その理云はう』

濟之丞は騒がなかつた

『ねゝ、聞かう』

『然し、急御用あつて登城の折から、一寸の間も缺かれない、拙者が申し聞けるに及ばぬ、お手前の妹御前にお聞き召さ、奥方の咽喉の下へ入つて、お奥の權力を掌に握る芳野が存じちや』

云ひ切つてつか／＼と立ち出づる、馬丁は銀覆輪の鞍を置いた三歳駒を引いて出る

『芳野は女、そんな者が相手に為らうか、お身の口から聞きたい、待たつしやい』

利右衞門が追ひ掛けやうとするを、角内と甚内とが遮ぎる、その隙に濟之丞は馬に乗る

『待て／＼待て』

利右衞門が聲を限りに呼ぶを、濟之丞は見向きもせず一鞭加へる、馬は一聲嘶くと疾風の如くに驅ける、角内甚内二人の若黨、それに馬丁、草履取り、後れじと驅けて行く

『犬畜生と罵られて武士が立つか、その分では遣るまい』

利右衞門も追ひかけたが、馬の歩みに追ひ付かれさうな筈はない、お濠外の松の間を一散に驅ける間に、濟之丞は大手の門を驅け入つた

利右衞門は他國の浪人、一歩でも城門を潜るべき自由はない

『無念々々』と齒嚙みをする、それを嘲るやうに二人の家來は見返りながら進み入つた

『犬とは何んぢや、畜生とは何んぢや、斯樣な惡名を被せらるゝは、面上に唾せらるゝも同樣、このまゝ生きて、人中へ面は出せない、よし、彼の歸りを待ち受けて、潔く勝負しやう』

利右衞門は烈火の如くになつて端の小石に腰を掛けた、春の陽が長閑に照る

濟之丞は、外に斯うした敵を持つて、城内深く進み入る

『松尾濟之丞殿御登城』

斯う云ふ呼び聲が、本丸の門で聞こゆると、それからそれへと受け傳へて、遂に玄關側に控へた坊主の耳に入る、坊主はまた聲をあげて

『松尾濟之丞殿御登城』と呼びながら一人は奥へ驅け、一人は式臺へ出迎へる

濟之丞は一たん詰所へ入つて、備後守の沙汰を待つと、暫くして目付役が二人出て

『若殿御不審の廉あるに由り、當分座敷牢へ入れたまふ』旨を告げた

もし御前へ呼ばれて、備後守の糺彈を受けるのであつたら、一身を賭けて、美知姫の秘事を發かうと覺悟したが、一應の調べもなく直ちに座敷牢へ入れらるべき旨の宣告を受けた、濟之丞は案に相違したが上意に背く詞はない

『委細承知仕る』旨を云ふと、直ちに兩刀を奪り、肩衣を剝いで、目付役同道、辰巳の隅櫓へ押し入れる、濟之丞はもう何うする事も能きなかつた

朝鮮總督府 御用 牛乳 京城東四軒町 岡野牧場 電話一〇六九番

新刊紹介（到著順）

▲青年雄辯（三月號）二十五錢東京北多摩郡府中町九一四八小石川印刷合資會社

▲地行行政（三月號）二十錢東京京橋區加賀町九帝國地方行政學會

▲朝鮮經濟雜誌（二六）二十五錢京城京城商業會議所

▲帝國青年（三月號）十二錢東京麴町區内幸町一ノ四共社

▲フースヒー 五錢東京下澁谷一二二共社

▲貨殖新聞（二月號）三錢大阪西區九條通一ノ七一三共社

▲人格と幸福（三月號）六錢京都祇園高寄小路明治修養會

讀者の領分

▲電話交換手の忙しさは全く同情に堪へない一例を申せば「お話し中！」と便りなく切る處なぞは全く多忙の一面を窺ひ知る事が出來る我々の文明の利器を司る姫君に敬意を表せなければならぬ（卓上受話器）▲粟餅屋の三好野では給仕する時煙草を啣へながら持つて來るなどゝは不都合だそれから鮮人婆さんが手づから持つて來るのもいゝ氣持ちはしないナンボ賤い客でもチト丁寧にしたら好いだらう（一皿主義）▲エス贊成及び第一應援軍生よ試に思へ石炭騰貴なれば値上しても朝湯を沸せ云々の言は亂暴だ物價騰貴で一般下級民窮乏の時湯錢の値上の如きは甚だ困るではないか諸君の如くた樣に朝湯が必要なれば何故に自己の力にて朝湯を沸さゞるや（憤慨生）▲本欄に電車攻擊がよく出るが容易に改良されぬやうだ、無理な註文なら兎に角前降後昇を嚴重にせよとか車掌が乘客に對する態度を叮嚀にせよとかいふ事は監督者が少し喧ましく言ひさへすれば直ぐに出來るのである、それを實行しないのは會社に人なしと言はれても致し方があるまい（吉野町人）△蓬萊三丁目の川沿ひの道路によく肥桶が分列式をしてゐるが道端におくのは隨分ヒドイでないか（赤電燈）

日報歌壇

□野火（二） 高須賀獸

立ちのぼる野火の煙りに風はあり苔が小手鞠

おほらかに燃さしなれば野火の火は疎林をす空ほがらなり

透きて日にさやかなり

雜木林のなかに燃々と枯はしげり赤き花咲けり

うつら／＼歩けば莖の高く枯れその繁りより湧ける水の音

枯萱のしげれる下に湧く水の音はのかなり夕日の山に

まだら雪殘れる下を音立てゝ流るゝ澤の水を呑みけり

谷底にこぼれし光り動くまゝ上なる枝に巫の騒がし

枯枝をわけて谷より這ひ上り道をめそけば風は明るし

□氷湖 二

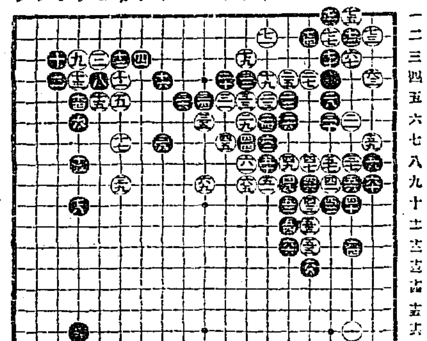
うすやみはひれもす白く輝ける氷の上に眠く漂へり

葉の水にただよふ氷塊の一つひとつが今のわれはも

碁戰

十番碁第八局の（四）

三段 山平 平壽氏
二子 大久保雅彥氏



〇六一 チの八
●六二 トの七
〇六三 ロの四
●六四 ハの十二
〇六五 チの九
●六六 への十
〇六七 ハの三
●六八 ホの十二
〇六九 ヌの九
●七〇 ニの十三
〇七一 トの十二
●七二 ハの十二
〇七三 ロの十二
●七四 ホの十一
〇七五 への一
●七六 ニの十一
〇七七 ニの十二
●七八 ヌの十
〇七九 チの十三
●八〇 ハの二
（劫トル）

皮膚科 外科 專門 京城太平通二丁目 扇田醫院 電話二三五八番

天下一品 白鶴 增本酒店 仁川本町三丁目 電話一〇九番

京城龍山第各地に御座候有御注意 りん病 ほりい毒 百日 帝國醫科大學 皮膚科主任 ... 大阪有田ドラッグ商會本部 にせ物に御注意 京城本町三丁目 ... 他の藥店に販賣を不許 有田ドラッグ 南大門外

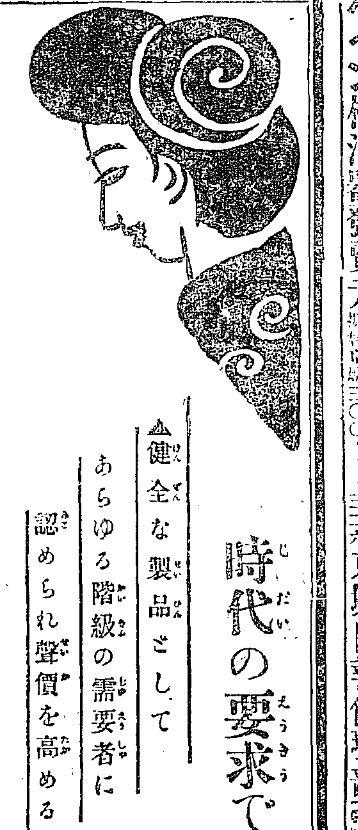
インガソル時計 懐中時計 ミシン機械 自轉車 洋酒各國貨物 本店京城本町二丁目 電話九七二番 イングレツレー商會

新荷著 懷中時計（アンクル） 時計 大小各種

りん病七日藥 淋病は何んでも治る 東京神田 大阪南堀江 山口藥院

蠅の發生期迫る（發生前に使用するを以て理想的とす）
理想的蠅蚊蚤の驅除劑 ◎ST式固形石油乳劑（除蟲菊加用）
定價半打入十五錢一打入二十八錢（別に棒型徳用品あり）
本品の効力に就ては確固たる自信を有し内地は既に東京府を始め各府縣に使用せられ朝鮮は本年新たに京城其他の各地に使用せられんとする向勢からず始めて試用せられんとする向にして多少共疑ひ有之は本務省若くは警視廳へ御問合せありたし
一、本品の効用 蠅蚤蚊等の驅除に適し便所芥溜の惡臭を去り農作物園藝等の害蟲驅除に有効也
一、本品の特長 本品は溶解簡易にして石油は完全に水に混和し固形體なるを以て運搬に便利にして人體に危害なく又發火の危險更に無し
一、使用法 本品一個を熱湯一升に溶解すれば百倍液となりて殺蟲劑となり農作物用としては百倍乃至三百倍のものを使用す
朝鮮總發賣元 京城本町 熊平支店 電話長六二四番 振替京城三一一五番

◎發熱と檢溫器＝家庭必備◎
△代表的模範 PINE 檢溫器▽
優美サック入
朝鮮總督府醫院檢定證附 定價特製壹圓四十錢 郵税十二錢
本品は時代の要求に喚醒せられ多年苦辛考究の結果製作したる良品にして彼の精巧無比と誇れる獨逸製を凌駕し示度の正確と技術の優秀なるは本邦幾多製品中の模範的逸品たるを證す加之價亦廉也乞ふ眞價は現品に徴せられたし
パイン檢溫器發賣元 京城太平通 電話長三二六〇 京城日報代理部



間自動車著發時刻 金泉發 前八、〇〇 後三、〇〇 ... 織居自動車部金泉支部 金泉電話四八番

尼崎汽船仁川出帆 群山、木浦、釜山、下關、神阪行 神代丸 三月二十日後四時出 秀吉丸 三月廿一日後四時出 君代丸 三月十八日後四時出 大有丸 三月廿五日後四時出 仁川海岸通 高杉回漕部

日本郵船仁川出帆 大連行、天津行 相模丸 三月二十日 三河丸 三月 高砂丸 三月卅一日 正午出 仁川海岸町 堀回漕部

阿波共同汽船仁川出帆 芝罘、大連行 共同丸 三月十七日午後入港 三月十八日午後時出 本町四丁目 野口商會 仁川代理店 田口回漕部 元山代理店 京城代理店 河村惠店

大阪商船株式會社汽船出帆廣告 仁川出帆 神戸大阪行（群山寄港）須磨丸 三月廿四日後五時出 日清丸 三月 日後五時出 福州丸 三月 日後五時出 ×安東丸 木浦、釜山、厳原、郷ノ浦、長崎行 三月二十一日正午時出 ×安東丸 鎮南浦、大連行 信濃川丸 三月 日後二時出 元山出帆 宮島丸 釜山、門司、宇品、神戸、大阪行 三月 日後九時出 大連出帆 基隆丸 上海、基隆、打狗行 湖北丸 四月二日後四時出 内地各港出帆主要航路 南米行 毎月一回 北米行 毎月二回 南洋行 毎月一回 孟買行 毎月二回 大阪商船株式會社仁川支店 京城切符發賣所

朝鮮郵船 本社 京城 第二商運丸 成鏡丸 京畿丸 忠清丸 元山より北鮮各地經由雄基行 高運丸 大阪行（釜山門司經由） 元山より釜山（浦項）經由 平壤丸 江陵丸 鬱陵島行 濟州島行 木浦發 統營丸 釜山巨濟丸 仁川木浦行 海州行 江華島 清津行（大阪神戸門司より） 仁川發 元山發 釜山發 木浦發